

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-6

< 第43週 >

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.7-8

< 感染性胃腸炎 >

第43週の定点当たり報告数は4.64と2週連続で増加がみられている



病原体情報
P.9-11

インフルエンザウイルス 2012/13シーズン



速報
P.12-13

2012/13シーズン最初に分離されたA(H1N1)pdm09、A(H3N2)亜型およびB型インフルエンザウイルスの性状 - 横浜市



海外感染症情報
P.14-15

ウガンダでマールブルグ病が発生しています / モーリタニアでリフトバレー熱が発生しています / スーダンで黄熱の患者が発生しています



感染症の話
P.16-19

< 疥癬 >

ヒゼンダニが皮膚の最外層である角質層に寄生し、人から人へ感染する疾患である



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(43週)
P.20-25



43週のデータ
P.26-38



発生動向総覧

< 第43週コメント > 10月31日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核344例

3類感染症

細菌性赤痢2例 菌種: *S. sonnei*(D群)2例__感染地域: 三重県1例、モロッコ1例

腸管出血性大腸菌感染症59例(有症者37例、うちHUS 3例)

感染地域: 国内59例

国内の多い感染地域: 鹿児島県6例、岩手県4例、兵庫県4例、青森県3例、栃木県3例、東京都3例、宮城県2例、茨城県2例、群馬県2例、千葉県2例、神奈川県2例、岡山県2例、香川県2例、福岡県2例、長崎県2例

年齢群: 0歳(2例)、1歳(2例)、2歳(2例)、3歳(2例)、4歳(3例)、5歳(4例)、6歳(2例)、7歳(1例)、8歳(1例)、9歳(1例)、10代(5例)、20代(8例)、30代(9例)、40代(3例)、50代(3例)、60代(5例)、70代(3例)、80代(2例)、90代(1例)

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(19例)、O26 VT1(13例)、O157 VT2(6例)、O157 VT1(5例)、O157 VT不明(3例)、O26 VT1・VT2(2例)、O165 VT1・VT2(2例)、O26 VT不明(1例)、O103 VT1(1例)、O111 VT1(1例)、O145 VT2(1例)、その他・不明(5例)

累積報告数: 3,415例(有症者2,166例、うちHUS 85例、死亡8例)

腸チフス2例

感染地域: インド2例

パラチフス1例

感染地域: インド

4類感染症

E型肝炎1例

感染地域: 国内(都道府県不明)__感染源: 不明

A型肝炎1例

感染地域: 国内(都道府県不明)

つつが虫病3例

感染地域: 群馬県2例、神奈川県1例

デング熱5例

感染地域: インド3例、カンボジア1例、フィリピン1例

日本紅斑熱7例

感染地域: 三重県2例、和歌山県2例、広島県2例、鹿児島県1例

マラリア2例

熱帯熱2例__感染地域: ベナン1例、ブルキナファソ1例

レジオネラ症12例(肺炎型12例)

感染地域: 広島県2例、北海道1例、栃木県1例(温泉)、埼玉県1例、神奈川県1例、岐阜県1例、徳島県1例、大分県1例、国内(都道府県不明)3例(うち1例温泉)

年齢群: 40代(2例)、50代(1例)、60代(6例)、70代(2例)、80代(1例)

レプトスピラ症4例(うち死亡1例)

感染地域: 愛媛県1例__感染源: 動物

感染地域: 高知県1例__感染源: 不明

感染地域: 沖縄県1例__感染源: 不明

感染地域: タイ/ラオス1例__感染源: 不明

5類感染症

アメーバ赤痢15例(腸管アメーバ症10例、腸管外アメーバ症3例、腸管及び腸管外アメーバ症2例)

感染地域: 東京都3例、宮城県2例、大阪府2例、北海道1例、山形県1例、神奈川県1例、新潟県1例、静岡県1例、高知県1例、国内(都道府県不明)1例、米国1例

感染経路: 性的接触6例(異性間2例、同性間3例、異性間・同性間不明1例)、経口感染2例、不明7例

ウイルス性肝炎2例 B型2例__感染経路: 性的接触2例(同性間2例)

クロイツフェルト・ヤコブ病3例

孤発性プリオン病古典型3例

劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例

年齢群: 60代(1例)、80代(1例)

後天性免疫不全症候群14例(AIDS 4例、無症候10例)

感染地域: 国内12例、国内・国外不明2例

感染経路: 性的接触12例(異性間3例、同性間8例、異性/同性間1例)、不明2例

ジアルジア症3例 感染地域: 福島県1例、大阪府1例、マリ/ブルキナファソ1例

梅毒17例(早期顕症I期3例、早期顕症II期7例、無症候7例)

バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

遺伝子型: *Van C*__菌検出検体: 血液

風しん20例(検査診断例15例、臨床診断例5例)

感染地域: 東京都7例、神奈川県3例、茨城県1例、千葉県1例、愛知県1例、国内(都道府県不明)7例

年齢群: 1歳(1例)、5 ~ 9歳(1例)、20 ~ 24歳(5例)、25 ~ 29歳(4例)、30 ~ 34歳(3例)、35 ~ 39歳(3例)、40代(1例)、50代(2例)

累積報告数: 1,930例(検査診断例1,424例、臨床診断例506例)

麻しん3例〔麻しん(検査診断例2例、臨床診断例1例)〕

感染地域: 埼玉県1例、神奈川県1例、国内(都道府県不明)1例

年齢群: 15 ~ 19歳(1例)、40代(2例)

累積報告数: 275例〔麻しん(検査診断例140例、臨床診断例66例)、修飾麻しん(検査診断例69例)〕

遺伝子型別累積報告数(遺伝子型が同定・報告された症例のみ): 64例

D4: 6例__感染地域: 東京都2例、千葉県1例、東京都/ベトナム1例、大阪府/英国1例、パキスタン1例

D8: 43例__感染地域: 愛知県19例、千葉県5例、宮崎県5例、岐阜県3例、山梨県2例、都道府県不明6例、タイ2例、タイ/カンボジア1例

D9: 8例__感染地域: 岡山県4例、栃木県1例、千葉県1例、東京都1例、フィリピン1例

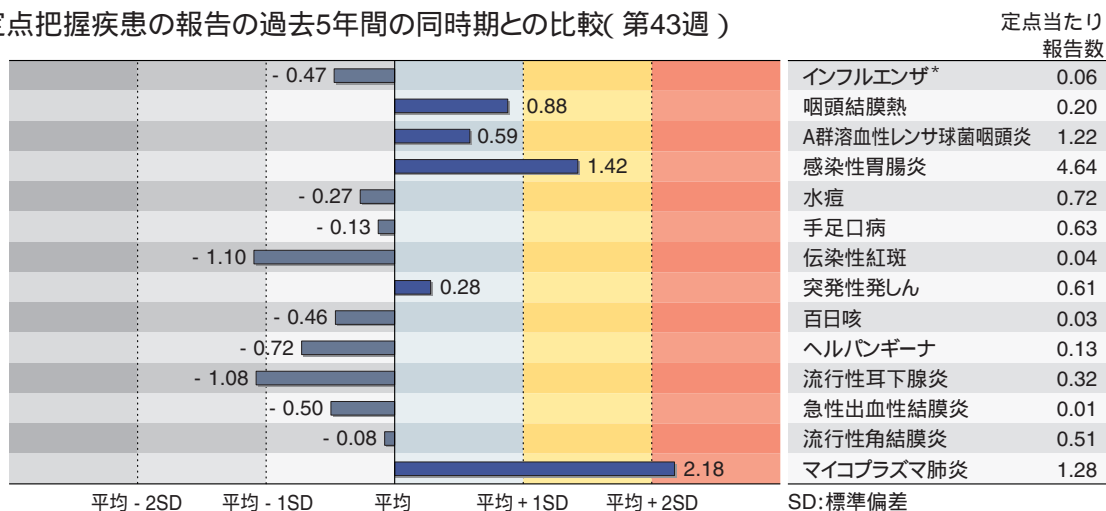
H1: 7例__感染地域: 福島県4例、東京都1例、中国1例、台湾1例

(補) 2012年第42週までに診断されたものの報告遅れとして、日本紅斑熱6例(感染地域: 三重県4例、鹿児島県2例)、急性脳炎3例(エコーウイルス7型1例__年齢群: 4歳 . 病原体不明2例__年齢群: 4歳(1例)、10代(1例))、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例(80代(3例 . うち1例死亡))、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例(遺伝子型: 不明__菌検出検体: 尿) などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第43週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。(*2009年のパンデミックの影響を受けています。)

インフルエンザ

定点当たり報告数は増加した。都道府県別では沖縄県(1.88)、佐賀県(1.18)、滋賀県(0.36)、岐阜県(0.21)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は3,541例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約72%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では佐賀県(1.32)、宮崎県(0.71)、徳島県(0.57)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では山口県(2.50)、宮崎県(2.34)、北海道(2.20)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では福岡県(10.98)、兵庫県(10.87)、石川県(8.24)、大分県(7.75)が多い。

水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では山形県(2.03)、佐賀県(1.77)、宮城県(1.48)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は第40週以降減少が続いている。都道府県別では宮崎県(3.74)、山形県(3.72)、岩手県(3.45)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では新潟県(0.17)、岐阜県(0.17)、徳島県(0.17)、高知県(0.17)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では大分県(0.17)、高知県(0.13)、福井県(0.09)が多い。

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第35週以降減少が続いている。都道府県別では香川県(0.60)、滋賀県(0.44)、新潟県(0.40)が多い。

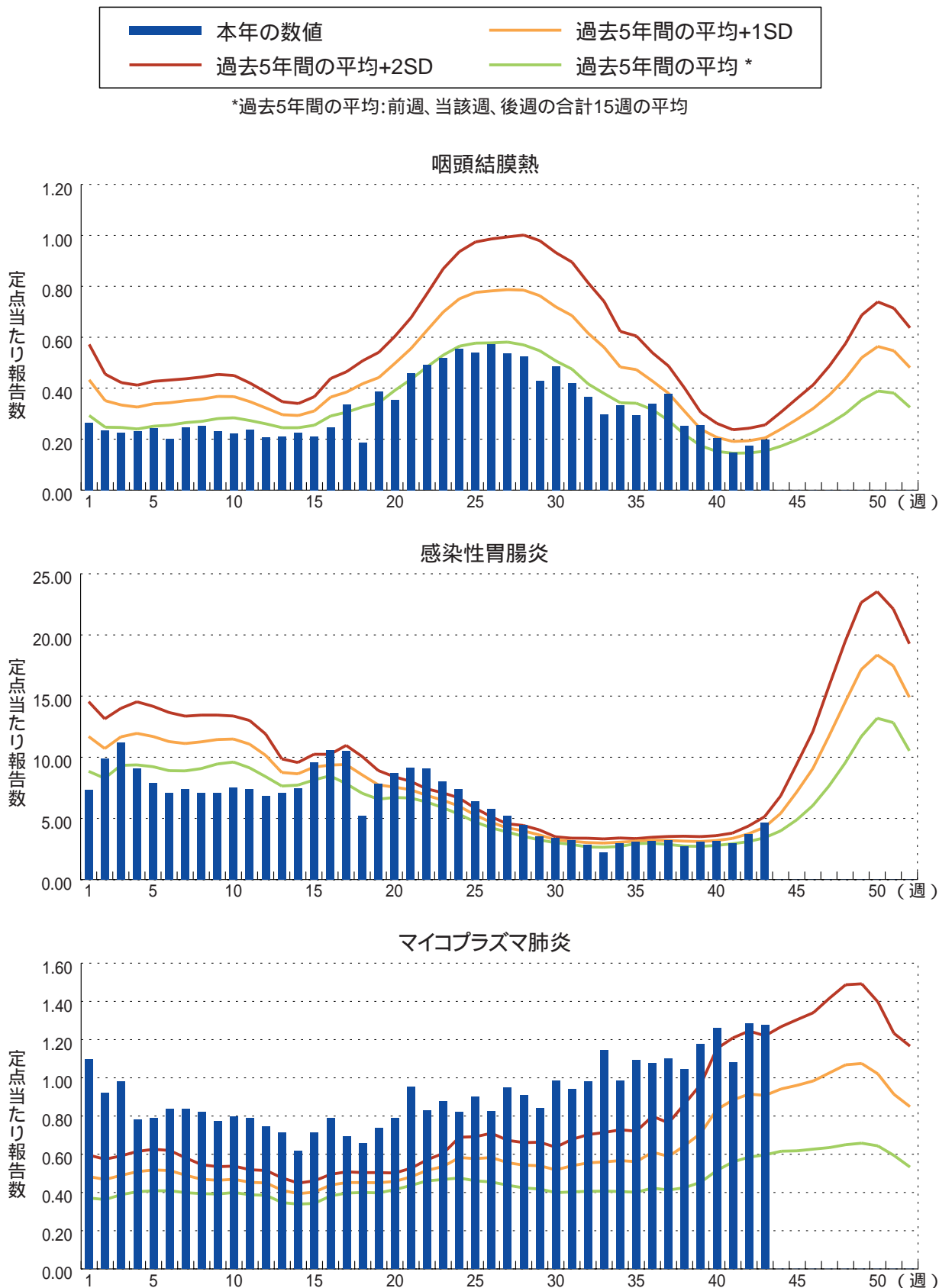
流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では大分県(1.47)、岩手県(1.20)、山形県(1.14)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では群馬県(4.50)、宮城県(4.08)、埼玉県(3.78)、栃木県(3.57)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2012年第43週)

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

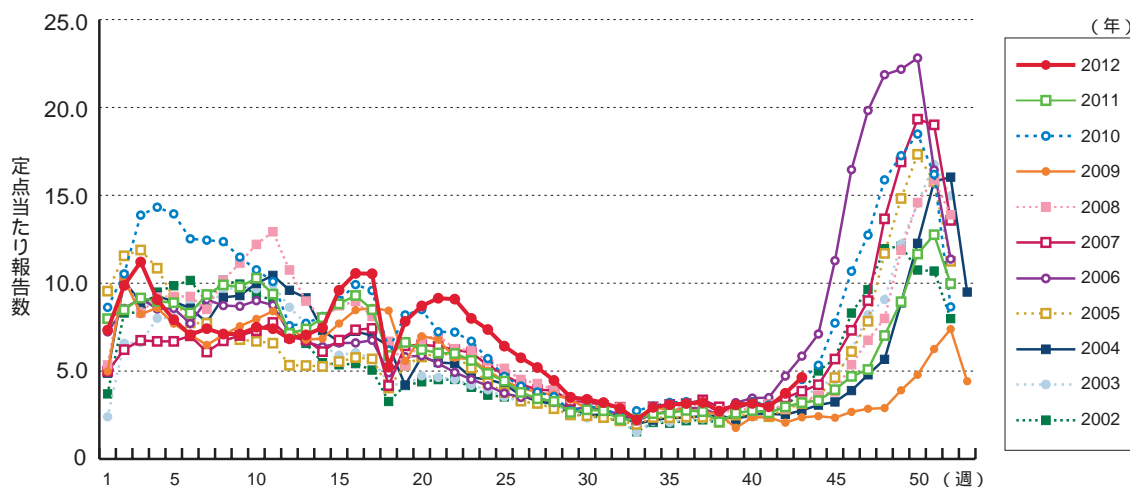
感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は多種多様な原因によるものを包含する症候群名である。全国約3,000カ所の小児科定点からの患者発生報告数が増加するのは冬季であり、その大半はノロウイルスやロタウイルス等のウイルス感染を原因とするものであると推測される。また、患者発生ピークは例年12月中となることが多く(図1)、同時期の感染性胃腸炎の、特に集団発生例の原因の多くはノロウイルスによるものであると考えられている(IASR, Vol 31, No 11, P312-314 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/31/369/tpc369-j.html> 参照)。

ノロウイルス感染症の潜伏期間は数時間～数日(平均1～2日)で、主な症状は嘔気・嘔吐及び下痢であり、嘔吐・下痢は1日数回から多いときには10回以上のこともある。しかし、症状持続期間は数時間～数日(平均1～2日)と比較的短く、以前から他の病気がある等の要因がない限りは、重症化して長期にわたり入院を要することは少ない。また、発熱の頻度は高くはない。特効薬はなく、治療は対症療法となるが、最も重要なことは水分補給によって脱水を防ぐことである。

ノロウイルスの感染経路としては、以前は食中毒としての経口感染がよく知られていたが、感染後の発症者や無症状病原体保有者との直接もしくは間接的接触による接触感染や、患者の嘔吐物や下痢便を介した飛沫感染等のヒト-ヒト感染があり、その感染力は非常に強い。乳幼児の集団生活施設である保育所や幼稚園、小児の集団生活施設である小学校等においては、これら接触感染や飛沫感染等により、集団発生が繰り返されてきているものと推察される。また、2006年12月の東京都豊島区のホテルにおいて発生した集団感染事例のように、「吐物や下痢便の処理が適切に行われなかったために残存したウイルスを含む小粒子が、掃除などの物理的刺激によって舞い上がり、それを間近とは限らない場所で吸引し、経食道的に嚥下して消化管へ至る感染経路」である「塵埃感染」が発生する場合がある(感染症情報センターホームページ「ノロウイルスの感染経路」: <http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/0702keiro.html> 参照)。ノロウイルスの感染予防には、流水・石けんによる手洗いの励行と吐物や下痢便の適切な処理がきわめて重要である(感染症情報センターホームページ「家庭等一般の方々へ」: <http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/taio-a.html>、「医療従事者・施設スタッフ用」: <http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/taio-b.html> 参照)。

図1. 感染性胃腸炎の年別・週別発生状況(2002 ~ 2012年第43週)



感染症発生動向調査では、感染性胃腸炎は全国約3,000カ所の小児科定点からの報告に基づいている。2012年第43週の定点当たり報告数は4.64(報告数14,601)と2週連続で増加がみられている(図1)。都道府県別では福岡県(10.98)、兵庫県(10.87)、石川県(8.24)、大分県(7.75)、大阪府(7.19)、宮崎県(7.11)、熊本県(7.08)の順となっており、全国値(4.64)を上回っているのは佐賀県、鹿児島県を除いた九州の各県を含めて西日本の府県に多い(図2)。2012年第36 ~ 43週の定点当たり累積報告数は26.63(累積報告数84,126)であり、年齢群別では0 ~ 1歳27.9%、2 ~ 3歳20.6%、4 ~ 5歳15.8%、6 ~ 7歳9.2%の順となっている(図3)。

感染性胃腸炎の報告数は11月に入ると急増し、12月中にそのピークを迎えるという流行を例年繰り返してきている。本年も本格的な流行時期が近付いてきていることが予想されることから、今後の感染性胃腸炎の発生動向には注意が必要である。

図2. 感染性胃腸炎の都道府県別定点当たり報告数の推移(2012年第41 ~ 43週)

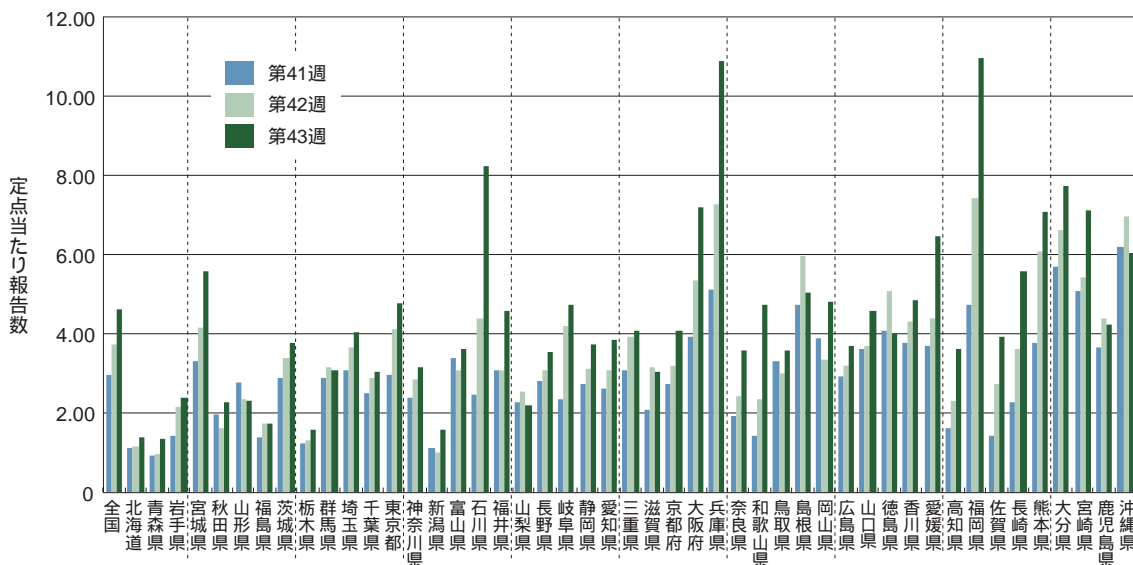
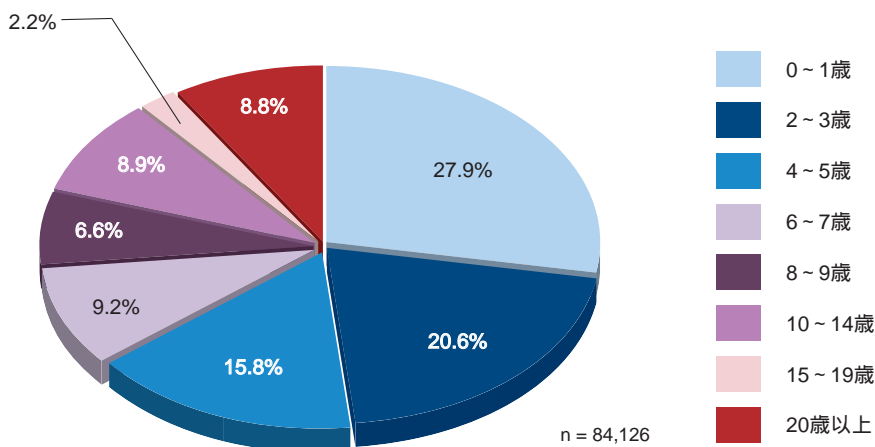


図3. 感染性胃腸炎の年齢群別割合(2012年第36 ~ 43週)





病原体情報

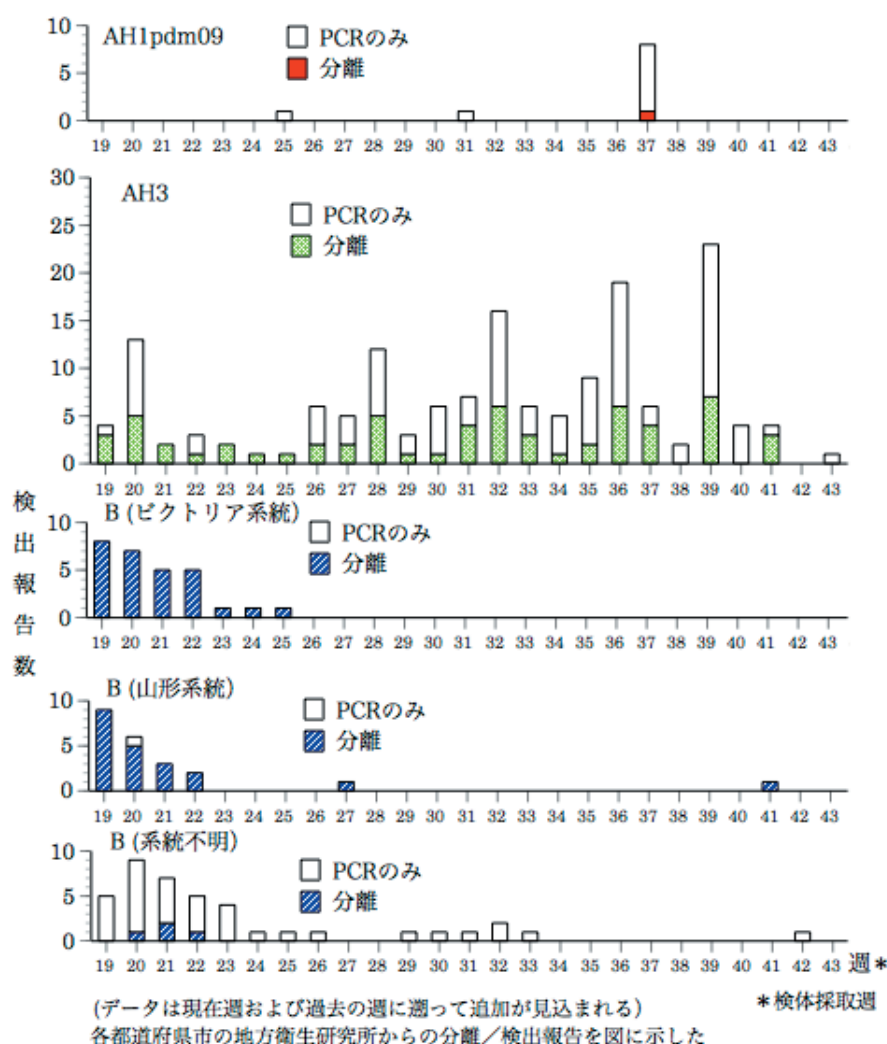
* グラフはIASRホームページ(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html>)からの引用です。

国立感染症研究所・感染症情報センターには各都道府県市の地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」と「集団発生病原体票」が報告されています。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれています。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2012年11月1日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2012/13シーズン

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2012年第19週～第43週
(病原微生物検出情報: 2012年11月1日現在報告数)

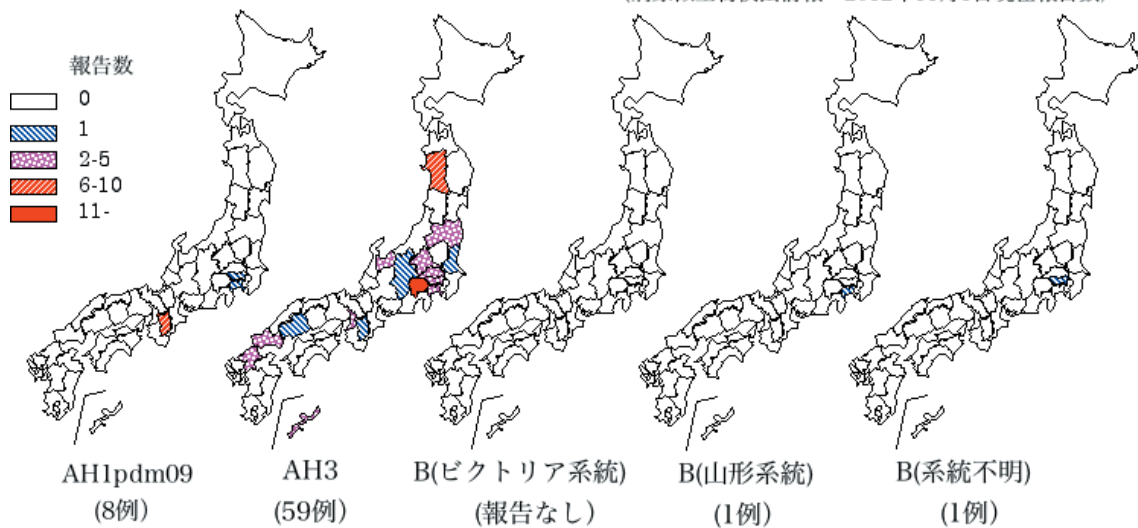


Infectious Agents Surveillance Report

2012年第19週以降インフルエンザウイルス検出報告は少数となっているが、沖縄県では夏季に入っても流行が続き、第26週以降AH3亜型が主に検出されている。

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2012年第36週～第43週

(病原微生物検出情報：2012年11月1日現在報告数)

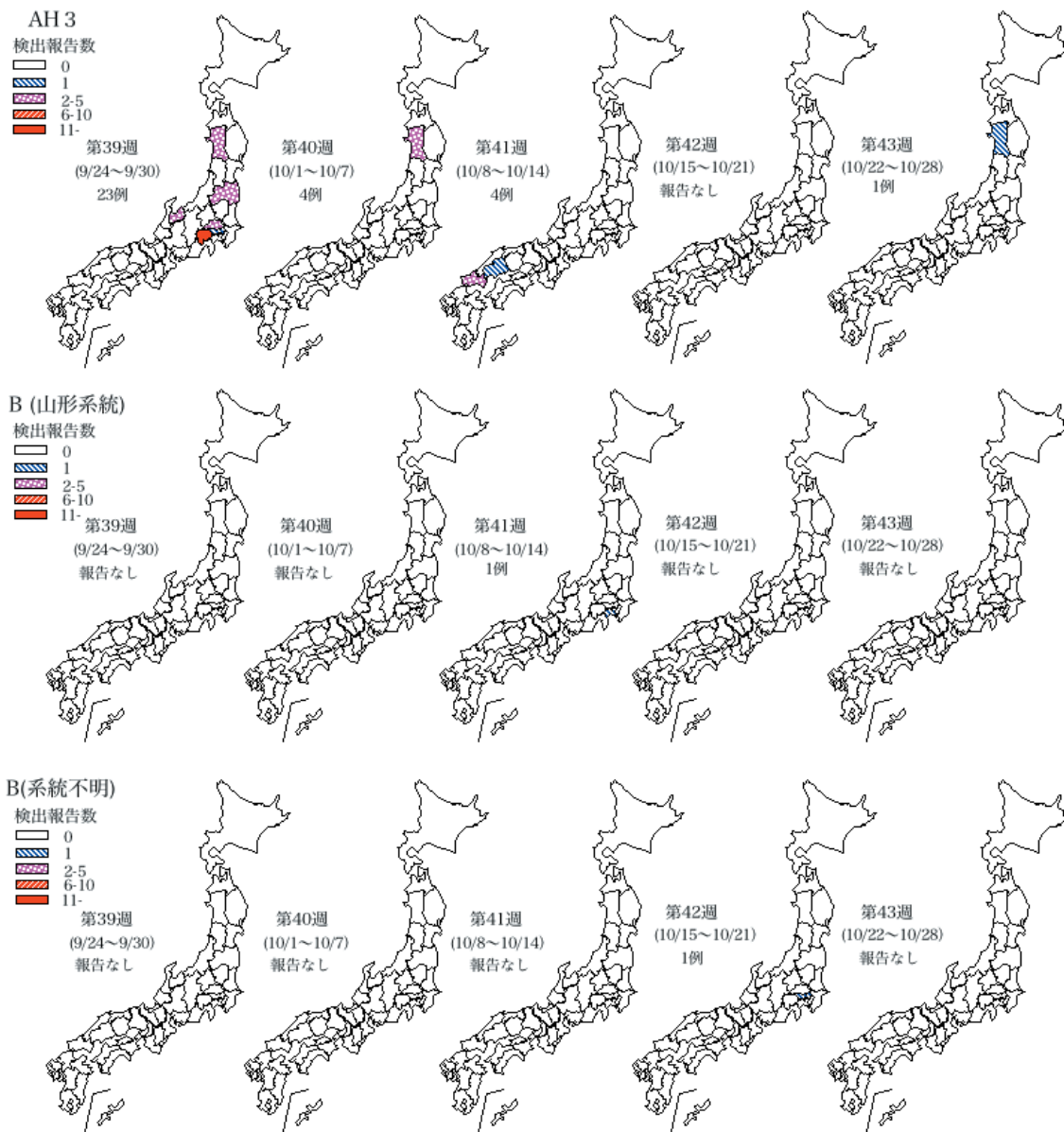


各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



2012/13シーズンに入って、2012年第36～43週の累積では、AH1pdm09が3都県から8件、AH3亜型が16都府県から59件、B型は山形系統株が神奈川県から1件、系統不明株が東京都から1件報告されている(本号12ページ「速報」参照)。

週別都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2012年第39週～第43週
(病原微生物検出情報：2012年11月1日現在報告数)



*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を検体採取週別に図に示した



2012年第39～43週の5週間では、AH3亜型が山梨県から11件、秋田県から8件、埼玉県、富山県、山口県各3件など8都県から32件、B型は山形系統株が神奈川県から1件、系統不明株が東京都から1件報告されている。

このうち、輸入例からの検出が1件(AH3亜型:タイ1件)報告されている。

インフルエンザウイルス分離・検出速報は <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-inf.html> を参照ください。



2012/13シーズン最初に分離されたA(H1N1)pdm09、A(H3N2)亜型およびB型インフルエンザウイルスの性状 - 横浜市

横浜市では2011/12シーズンの流行終息後、7月に集団事例や散发事例からA(H3N2)亜型ウイルスが分離され、沖縄県や大阪府の報告^{1,2)}同様、夏季においてもインフルエンザウイルスの分離・検出がみられていた。その後、2012/13シーズンに入った9月に、集団事例よりA(H3N2)亜型ウイルス、タイから帰国した患者よりA(H1N1)pdm09ウイルス、10月に散发事例より山形系統のB型ウイルスが分離されたので報告する。

1. A(H3N2)亜型ウイルスの集団事例

事例1は2012年9月7日(第36週)にA区の福祉施設で、迅速診断キットA陽性患者19名(入所者11名、職員8名)のインフルエンザ集団発生報告があり、3名からうがい液および鼻かみ検体を採取した。このうち1名(24歳)からAH3亜型ウイルスのHA遺伝子を検出し、MDCK細胞でも同患者からウイルスを分離した。事例2は9月11日(第37週)にB区の保育園で、迅速診断キットA陽性患者13名の発生報告があり、5名からうがい液および鼻かみ検体を採取し、2名の患者からAH3亜型ウイルスのHA遺伝子を検出し、4名(1~4歳)の患者からウイルスを分離した。2事例とも海外渡航歴や沖縄県への滞在歴は無かった。

分離した5株のウイルスについて2012/13シーズンインフルエンザサーベイランスキットを用い、HI試験による抗原解析を実施した。0.75%モルモット赤血球を用いたA(H3N2)型A/Victoria/361/2011の抗血清に対するHI価は1,280(ホモ価2,560)を示し、A(H1N1)pdm09ウイルスA/California/7/2009(同2,560)の抗血清、B型山形系統B/Wisconsin/1/2010(同1,280)の抗血清、Victoria系統B/Brisbane/60/2008(同1,280)の抗血清に対するHI価は10未満であった。

HA遺伝子について遺伝子系統樹解析を行ったところ、2012/13シーズンワクチン株のA/Victoria/361/2011と同じVictoria/208クレードのサブクレード3Cに属し、T128A、R142G、N145Sのアミノ酸置換が共通であった。NA遺伝子については薬剤耐性に関与することが報告されている変異部位アミノ酸置換はみられず、国立感染症研究所インフルエンザウイルス研究センター(以下感染研)で実施した分離株の薬剤感受性試験においても感受性の低下はみられなかった。なお、M2遺伝子ではアマンタジンに対する耐性変異(N31S)がみられた。

2. AH1pdm09ウイルスの輸入事例

2012年9月13日(第37週)にC区の医療機関より、タイから帰国した患者(37歳)でインフルエンザA型と診断されたとの報告があり、うがい液と鼻かみ検体を採取した。リアルタイムRT-PCRによる遺伝子検査でA(H1N1)pdm09ウイルスのHA遺伝子を検出し、2シーズンぶりにMDCK細胞でウイルスを分離した。0.75%モルモット赤血球を用いたHI試験による抗原解析では、A(H1N1)pdm09ウイルスA/California/7/2009の抗血清に対するHI価は2,560(ホモ価2,560)を示した。なお、A/Victoria/361/2009(H3N2)の抗血清(同2,560)、山形系統B/Wisconsin/1/2010(同1,280)の抗血清、Victoria系統B/Brisbane/60/2008(同1,280)の抗血清に対するHI価は10未満であった。

HA遺伝子解析ではクレード7に属し、2012年初夏に南半球で分離されたA/Christchurch/11/2012株とはP271T、E499Kのアミノ酸置換が共通であった。NA遺伝子解析ではペラミビル投与後ではあったが、耐性マーカーH275Yは検出されず、感染研においても分離株のオセルタミビル、ザ

ナミビル、ペラムビルおよびラニナミビルに対する感受性の低下はみられなかった。内部遺伝子のPB2遺伝子では627番目のアミノ酸はトリ型(グルタミン)のままで、高温での増殖性が依然高い性状を保有していた。

3. B型(山形系統)の散発事例

2012年10月10日(第41週)にD区の基幹定点医療機関からインフルエンザB型と診断された患者(91歳)の鼻腔ぬぐい液が搬入され、MDCK細胞でウイルスを分離した。0.5%ニワトリ赤血球を用いたHI試験による抗原解析では、B型山形系統B/Wisconsin/1/2010の抗血清に対するHI価は320(ホモ価1,280)、Victoria系統B/Brisbane/60/2008(同1,280)の抗血清に対して10を示し、A(H3N2)型A/Victoria/361/2009(同2,560)の抗血清およびA(H1N1)pdm09ウイルスA/California/7/2009(同2,560)の抗血清に対するHI価は10未満であった。

HA遺伝子解析では昨シーズンの山形系統のウイルス株は2012/13シーズンワクチン株B/Wisconsin/1/2010を含むBangladesh/3333クレード(S150I、N165Y、G229Dのアミノ酸置換が共通)とBrisbane/3クレード(R48K、P108K、T181Aのアミノ酸置換が共通)に分かれたが、今シーズンの分離株は後者のクレードに属した。

AH3亜型ウイルスについては昨シーズン学童を中心に流行し、夏季以降高齢者や成人、就学前の小児からの分離例が続いており、今シーズンも流行が懸念される。A(H1N1)pdm09ウイルスはインド、ネパール、ラオス、タイなど2012年夏以降アジアでの報告が目立っており³⁾、今後の発生動向に注意が必要である。また、山形系統のB型ウイルスは2004/05シーズン以降主流となった流行はなく、抗体保有率も低いことからワクチン接種等の感染予防対策が必要と思われる。

謝辞：薬剤感受性試験を実施していただいたインフルエンザウイルス研究センター第一室のチームの方々に深謝いたします。

参考文献

- 1) IASR 33: 242, 2012
- 2) IASR 33: 270-271, 2012
- 3) Influenza update12 October 2012- Update number 170
http://www.who.int/influenza/surveillance_monitoring/updates/2012_10_12A_update_GIP_surveillance/en/index.html

横浜市衛生研究所

川上千春 小澤広規 百木智子 七種美和子 宇宿秀三 森田昌弘 水野哲宏

横浜市保健所

佐藤瑞紀 中尾祐次 勅使川原栄子 濱田奈々 大森正成 高橋秀明 椎葉桂子

岩田真美 豊澤隆弘

横浜立市民病院 吉村幸浩 立川夏夫

横浜栄共済病院 浅賀知也 道下一朗

(IASR 2012年11月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

*関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

ウガンダでマールブルグ病が発生しています(更新2)

2012年10月31日 WHO(GAR)

2012年10月31日に公表されたWHOの情報によりますと、ウガンダでは、10月28日時点で、18人のマールブルグ病の患者が報告されています。このうち、9人が死亡しています。患者の中には医療従事者も含まれています。患者は、南西部のカバレ(Kabale)、首都のカンパラ(Kampala)、イバンダ(Ibanda)、ムバララ(Mbarara)、カバロレ(Kabarole)の5地域で報告されています。致死率は50%です。保健省は、今年の10月19日に、このアウトブレイクを明らかにしました。9人の患者の血液検体は、ウガンダウイルス研究所で行われた検査によってマールブルグ病と確定されました。

現在、13人の患者が入院中です(カンパラで2人、カバレで8人、イバンダで3人)。患者の接触者で連日の経過観察が必要な人は確認されています。最後の確定患者は、10月26日に、イバンダの隔離病棟に入院しました。

WHOと、米国疾病予防管理センター、ウガンダ赤十字社、アフリカ実地疫学ネットワーク、国境なき医師団などの国際的な関係機関が、保健省のアウトブレイクの調査と対応を支援しています。国の対策本部は、実地の対応チームを強化するために、追加で動員する医療従事者と疫学者を選定しました。医療従事者への感染予防・制御、サーベイランス、患者管理のトレーニングが進められています。情報・教育・コミュニケーションの資料の普及や、マールブルグ病の予防や感染拡大を防止するための啓発、ラジオを通じた広報といった社会的動員活動が行われています。また、WHOから供給された個人防護具は週末に到着しました。

WHOの地域事務所は、現地の対応チームを支援するために、ウガンダに疫学者と物資調達担当者を派遣しました。また、WHOのザンビア事務所から社会的動員に関する専門家と、迅速対応チームのネットワークの物資調達担当者も、速やかに派遣されました。GOARN(Global Outbreak Alert and Response Network)では、追加派遣する専門家を選定しています。

アウトブレイクの調査は続いており、WHOと関係機関は、保健省を支援しています。アウトブレイクへの対応として、必要に応じて、調整、感染予防と感染拡大防止、サーベイランス、疫学、情報公開と社会的動員、人類学的な分析、物資調達といった分野の支援をしています。

近隣諸国は、感染が国境を越えて広がることを防ぐために、国境でのサーベイランスや対応を強化しています。

このアウトブレイクに対し、WHOはウガンダへの渡航制限や貿易の制限を推奨しません。

モーリタニアでリフトバレー熱が発生しています(更新1)

2012年11月1日 WHO(GAR)

2012年11月1日に公表されたWHOの情報によりますと、モーリタニア保健省は10月4日、リフトバレー熱の患者が発生したことを明らかにしました。9月16日(初発患者の発症日)から10月30日までに、モーリタニアの6地区から34人の患者が発生し、そのうち17人が死亡したと報告されています。最近の患者は、10月27日に、ブラクナ(Brakna)州のマグタ・ラハジャ(Magta Lahjar)で報告されました。患者が発生している地域は、アサバ(Assaba)州、ブラクナ州、ホズ・エツシャルギ(Hodh Chargui)州、ホズ・エル・ガルビ(Hodh Gharbi)州、タガント(Tagant)州、トラルザ(Trarza)州です。すべての患者に動物との接触歴がありました。

患者から採取された25検体は、ヌアクシヨット(Nouakchott)にある国立公衆衛生院の国立リ

ファレンス研究施設と、ダカールのパスツール研究所で検査され、ELISA法とPCR法で陽性になりました。国立獣医学研究所によって行われた分析結果によりますと、いくつかの地域では、動物の間でウイルスの循環が起こっていることが示されています。

リフトバレー熱の発生に対応して、保健省と地方開発省は共同で、複数の部門から構成される対策本部を立ち上げました。WHOとFAOなどの関係機関は、人と動物の健康に関する疫学的なサーベイランスの強化や、医療施設での患者管理能力の強化、と殺場での健康管理の強化、農民への注意喚起を行うために対策本部内で活動しています。

リフトバレー熱の発生地域で、人と動物のアウトブレイクを詳しく調査するために、複数の部門から構成された調査チームが派遣されています。また、技術的な支援を行うために、国際的な専門家チームが、11月3日から10日まで派遣される予定です。

モーリタニアでは、2010年にもリフトバレー熱のアウトブレイクが発生しました。

このアウトブレイクに関して、WHOはモーリタニアへの渡航制限や貿易の制限を推奨しません。

スーダンで黄熱の患者が発生しています

2012年11月2日 WHO(EMRO)

11月2日付で世界保健機関(WHO)東地中海事務所(EMRO)から公表された情報によりますと、スーダンの連邦保健省は、ダルフルの西部、中部、南部の9地域で黄熱患者が発生したことをWHOに通報しました。

9月の最終週以降、黄熱の疑い患者として合計103人が報告されており、このうち42人が死亡しています。患者は、ザレンゲイ(Zalengei)、ネルティティ(Nertity)、ワディスリ(Wadialih)、アズム(Azoom)、ニヤ(Nyala)、シャーク・アルガバル(Sharq Algabal)、メルシン(Merching)、カス(Kass)、ジェネイナ(Geneina)、ケーニク(Kernik)から報告されています。

連邦保健省は、迅速に行うべき優先順位の高い対策は、媒介蚊の対策、疾患のサーベイランスシステムの強化、疾患の予防と感染拡大防止に関する市民への注意喚起であるとしています。

対応チームを強化するため、WHO本部とEMROからの派遣団が、間もなくスーダンに到着する予定です。連邦保健省からの技術支援チームは、ダルフルの中部と南部で活動しており、積極的な患者調査のほか、発生地域での集団発生の調査と対応を開始しており、昆虫学的な調査も実施しています。患者が発生している地域での注意喚起を行うため、地域の統率者と最初の会談を行うなどの活動が行われています。

患者が発生している地域には、輸血用の血液や個人防護具が供給されました。また、患者が発生している地域の医療従事者用に2,000回接種分の黄熱ワクチンが用意されました。黄熱ワクチンの供給に関する国際調整グループは、セネガルのパスツール研究所で行われている再検査の結果を待って実施される予定の集団予防接種キャンペーンに向けて、ワクチンを供給する態勢を整えています。



感染症の話

*本記事は、国立感染症研究所ホームページ(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/>)に掲載されている各疾患の説明とは、を掲載しています。

疥癬

疥癬はヒゼンダニ(疥癬虫、 *Sarcoptes scabiei*)が皮膚の最外層である角質層に寄生し、人から人へ感染する疾患である。非常に多数のダニの寄生が認められる角化型疥癬(ノルウェー疥癬)と、少数寄生であるが激しい痒みを伴う普通の疥癬(通常疥癬)とがある(表1)。近年わが国では病院、高齢者施設、養護施設などで集団発生の事例が増加しており、疥癬感染防止対策マニュアルの作成が行われているが、予防、治療法などに混乱があり、医療および介護関係者の間で問題となっている。

表1. 通常疥癬と角化型疥癬

	通常疥癬 (普通に見られる疥癬)	角化型疥癬 (ノルウェー疥癬)
ヒゼンダニの数	数十匹以下	100万 ~ 200万
患者の免疫力 (病気一般に対する抵抗力)	正常	低下している
感染力(他人へうつす力)	弱い	強い
主な症状	赤いブツブツ(丘疹、結節) 疥癬トンネル	厚いあか(垢)が増えたよ うな状態(角質増殖)
かゆみ	強い	不定
症状が出る部位	顔や頭を除いた全身	全身

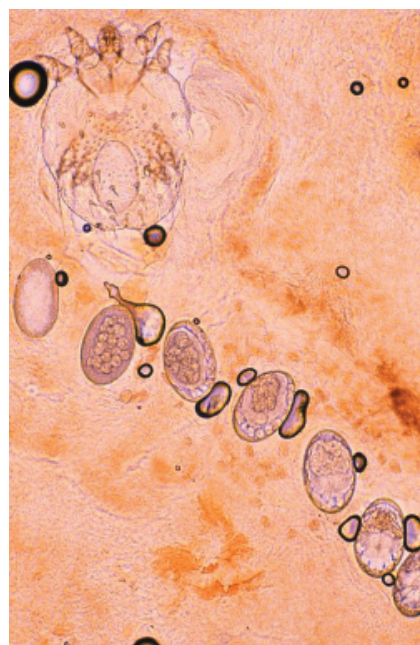
感染経路

ヒゼンダニの大きさは雌成虫で体長約400 μm、体幅約325 μmで、卵形、円盤状で(写真1)、肉眼ではほとんど見えない。雄は雌よりさらに小型である。卵 幼虫 若虫 成虫と約2週間で成熟する。幼虫、若虫、雄成虫は人の皮膚表面を歩き回るため、皮膚同士の接触によって感染する。また、皮膚内に掘った穴や毛包内に隠れていたりするため、ダニの寄生部位を特定するのは難しい。皮表を歩き回っている雄は雌を探し、交尾する。交尾後の雌成虫は、角質層に特徴的な疥癬トンネルを掘り進みながら、4 ~ 6週間にわたって1日2 ~ 3個ずつ産卵し続ける。卵は3 ~ 4日で孵化し、幼虫はトンネルを出てはいまわる。

ヒゼンダニは乾燥に弱く、皮膚から離れると2 ~ 3時間程で死ぬ。なお、イヌやタヌキなどの動物疥癬による偶発的症例が報告されており、感染した人は皮膚症状を示すが、皮膚内でダニが繁殖しないために、一時的な寄生で終わる。

写真1. ヒゼンダニ

メスは1日2 ~ 3個の卵を産む。
成虫の腹部に卵がみられる。



疥癬患者は年間8～15万人と予想されている。感染経路は人と人との接触がほとんどである。従って、家族、介護者、セックスパートナーの他、ダンスの相手やこたつで行う麻雀の仲間、また、畳での雑魚寝などでも感染する可能性がある。まれに寝具、衣類などから感染することもある。ヒゼンダニはヒトの体温より低い温度では動きが鈍く、16℃ではほとんど運動しなくなる。通常の社会生活で、通常疥癬患者と数時間並んで座った程度では、感染する可能性はほとんどない。感染直後は全く症状がないが、感染後約4～6週間で多数のダニが増殖し、その虫体、脱皮殻や排泄物(糞)によって感作されることにより、アレルギー反応としての激しい痒みが始まる。なお、角化型疥癬の患者から感染を受けた場合には、多数のダニが移るので、潜伏期間も4～5日と非常に短くなる。

集団生活が行われている高齢者福祉施設や養護施設などでは、一人の角化型疥癬患者の入所で集団発生の危険が生じる。1996年に東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の養護老人ホームと特別養護老人ホーム506施設に、疥癬の集団発生に関するアンケート調査を実施した報告では、集団発生を経験したことがある施設は養護老人ホームで45%、特別老人ホームは79%であった。多くは10人以下の集団発生であったが、41人以上の集団発生も5施設あった。患者の発生が持続する期間は1～6カ月89%、6カ月～1年8.2%、1～2年2.6%で2年以上も1施設みられた(皮膚病診療19:468, 1977)。このような状況は現在もあまり変わっていない。

臨床症状・診断

激しい痒みは特に夜間に増強し、睡眠を妨げられることがある。ただし、高齢者や角化型疥癬の患者では痒痒の訴えが少ない場合もある。疥癬に特徴的な皮疹は疥癬トンネル(小隆起性茶色調、曲がりくねった線状疹)で、手首の屈側、手掌尺側、指、指間、肘、アキレス腱部などに認められる。その他、丘疹、小水疱、痂皮、小結節なども見られる。陰囊部には小結節を認めることがある。また、下腹部や背部、腋窩などにも丘疹を認めることもあるので、全身くまなく観察することが必要である。

疥癬の確定診断はヒゼンダニを検出することである。しかし、問診・皮膚症状で疥癬が疑われる患者からのヒゼンダニ検出率は、皮膚科医が行った場合でも60%前後であり、検出率向上は主治医の努力にかかっている。したがって、強い痒痒を伴う疑わしい皮疹がある場合には、早期に皮膚科専門医に診察を依頼する。検査で陰性であっても痒痒や皮膚症状が収まるまで、数週間おいて繰り返し検査する必要がある。

ヒゼンダニの検出方法は、拡大鏡(ダーモスコープ、顕微鏡の接眼レンズなど)で、疥癬トンネルの先端を観察すると、顎体部と前二対の脚が黒褐色でその後方に続くほぼ透明な円形の胸腹部が観察できる。

また、疥癬トンネルや皮疹部を先の曲がった眼科用ハサミで先端を切り取ったり、あるいは、メスで皮疹の表面をこすって採取した組織片をスライドグラスに載せ、20%水酸化カリウム液を皮膚小片に滴下し、透過させて検鏡する。虫体や虫卵のほか、虫体の一部、卵の抜け殻などを検出する。血液像、血液生化学検査などは正常である。免疫学的検査法は開発されていない。

角化型疥癬(ノルウェー疥癬、痂皮型疥癬)

角化型疥癬は、桁違いに多数のヒゼンダニが感染した疥癬の重症型である(写真2)。患部は肥厚した灰色～帯黄白色の角質増殖と痂皮に覆われた状態になり、亀裂も生じる。ダニの数は通常の疥癬では数十匹であるが、角化型では100万～200万匹と言われている。

写真2. 角化型疥癬の患者

灰白色に見える部分は角化が進行している。
角化した皮膚を顕微鏡で観察すると多数のヒゼンダニを認める。



患者から剥がれ落ちた鱗屑や痂皮には多数のヒゼンダニがいるので、集団発生の感染源になる。角化型疥癬患者には、高齢者に多くみられる運動機能低下・障害、あるいは免疫学的異常など種々の基礎疾患があり、ステロイド剤の内服・注射などの全身投与や外用なども重症化の一因となる。角化型では爪なども侵され、痒痒は不定で治療に抵抗性である。角化型ではヒゼンダニの検出が容易であるので、特徴的な皮疹を診て疥癬を疑うことが診断上重要である。

治療・予防

ヒゼンダニを殺すことを目的とした飲み薬や、塗り薬が使われる(表2)。塗り薬は正常なところも含めて塗り残しがないように首から下の全身にこまかく塗る。また、痒みに対しては痒み止めの内服薬を用いる。

飲み薬

イベルメクチンを1回(または1週間後にもう1回)の内服で有効であることが報告されている。

塗り薬

イオウ剤、クロタミソクリーム、安息香酸ベンジルがある。ただし、安息香酸ベンジルを使う際には患者または代諾者の同意が必要になる。

また、-BHCは残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約で入手困難である。現在ピレスロイド系のフェノリン外用薬の治験が開始されたので、数年後に保険適用の外用薬としての使用が期待される。

感染拡大予防のためには患者の早期発見が重要で、疥癬が疑われる場合は早期に皮膚科に検査を依頼すること、さらに一人の患者が見つかった場合、患者の家族や同じところで寝泊りした人など、無症状者にも検査を行うことが必要となる。また、集団発生時は角化型疥癬患者など当該施設の感染源を特定すること、感染の機会があった入所者・スタッフの検査を行うことが必要となる。

通常の疥癬患者とは皮膚の直接接触を避ければ感染の心配はないので、隔離は必要ないが、角化型疥癬患者は短期間個室管理とし、処置をする場合は感染予防に努める。また、角化

型疥癬の場合、ダニの数が著しく多いので、患者が使用したリネン、毛布、布団、ベッドマット等にはダニが存在する可能性がある。ある研究では、25℃で湿度90%の条件で3日間生存するとされているため、これら患者が直接触れた寝具類は50℃以上のお湯に10分以上浸すか、大型の乾燥機で20～30分処理すれば、全てのダニを殺すことが可能である。

表2. 疥癬の主な治療薬剤

使用上の注意		一般名	薬理作用	主な副作用
内服	保険適用	イベルメクチン	神経細胞のClチャンネルに主に作用	瘙痒の一過性増悪、AST・ALT・総ビリルビン値上昇、中毒性表皮壊死症など
	保険適用	イオウ 有機イオウ	イオウが表皮で代謝されてダニの増殖を抑制	皮脂欠乏性皮膚炎
外用	適用外使用（保険診療報酬の審査上は容認）	クロタミトン	不明	熱感、刺激症状、接触皮膚炎
	特殊製剤のため患者へのインフォームドコンセントが必要	安息香酸ベンジル (Benzyl Benzoate)	不明	刺激症状、中枢神経障害
		-BHC	神経細胞のNaチャンネルに主に作用	中枢神経障害、再生不良性貧血
	日本では未発売	ペルメトリン	神経細胞のNaチャンネルに主に作用	接触皮膚炎
	治験中	フェノトリン	神経細胞のNaチャンネルに主に作用	健常人を対象とした治験では副作用無し

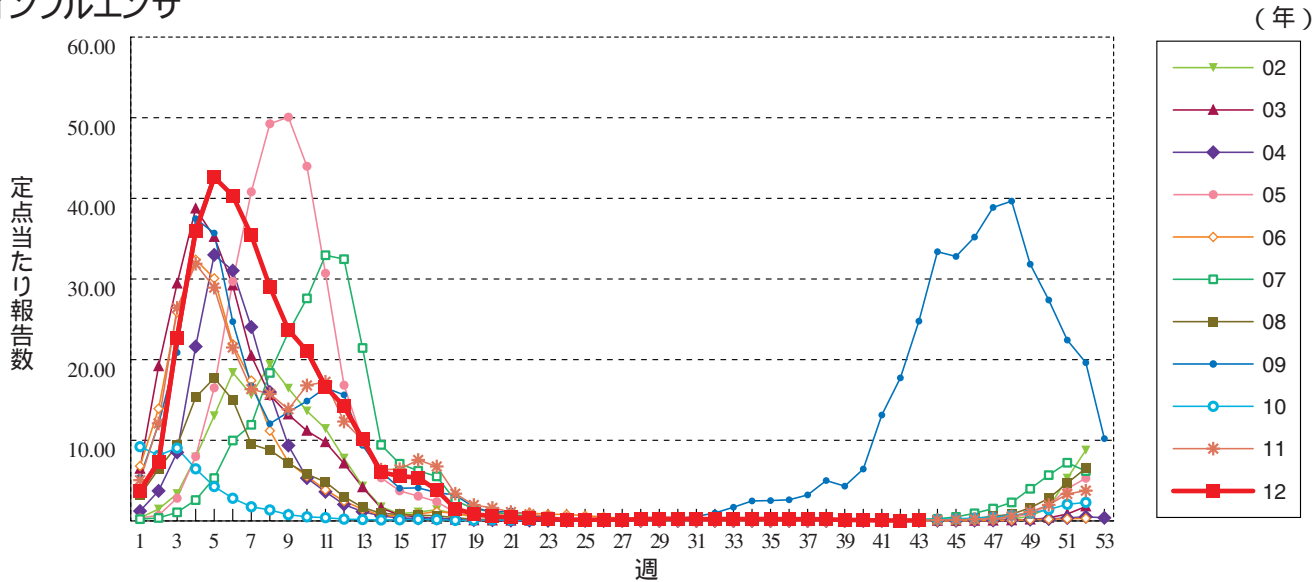
(国立感染症研究所ハンセン病研究センター 石井則久
同昆虫医科学部 沢辺京子・小林睦生)

(2012年11月7日 改訂)

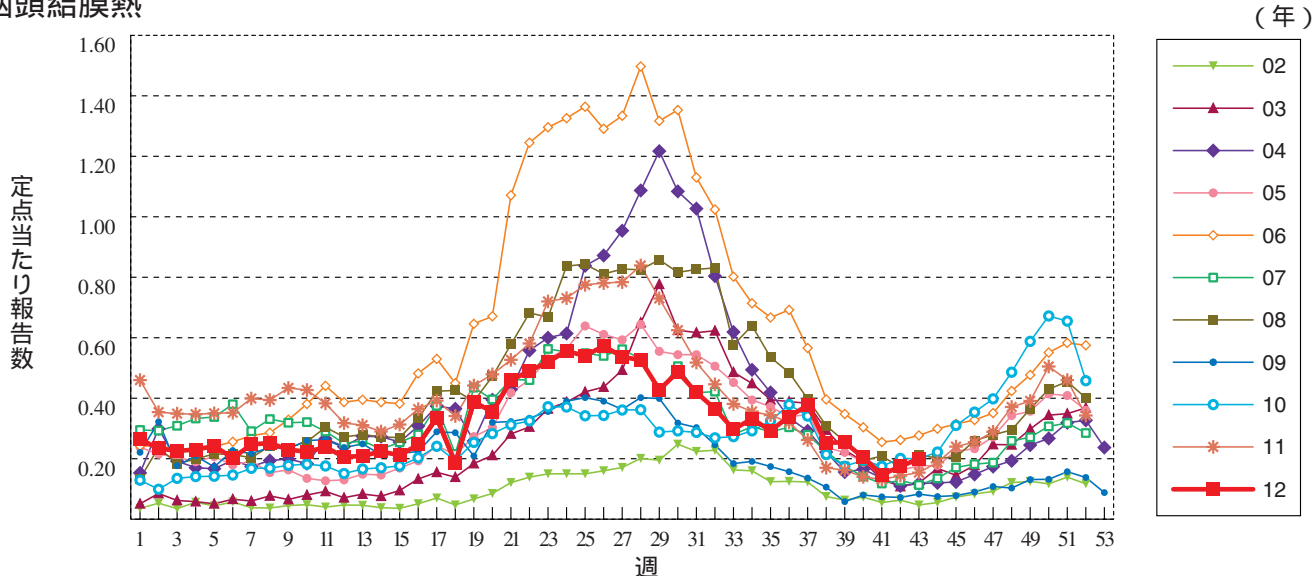


グラフ総覧(43週)

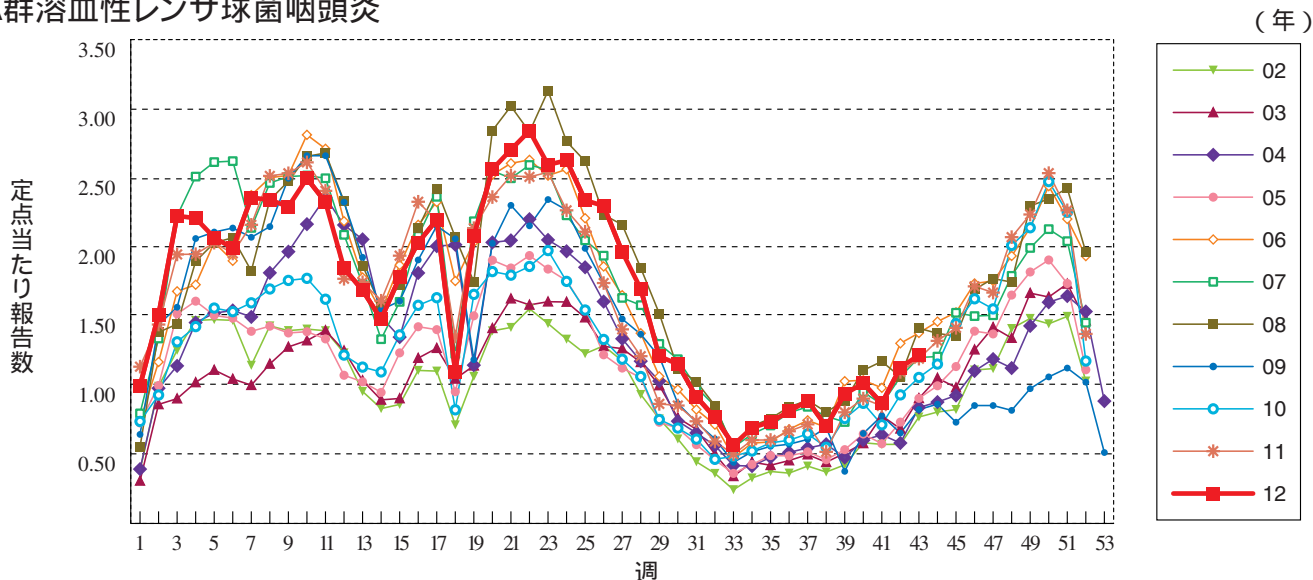
インフルエンザ



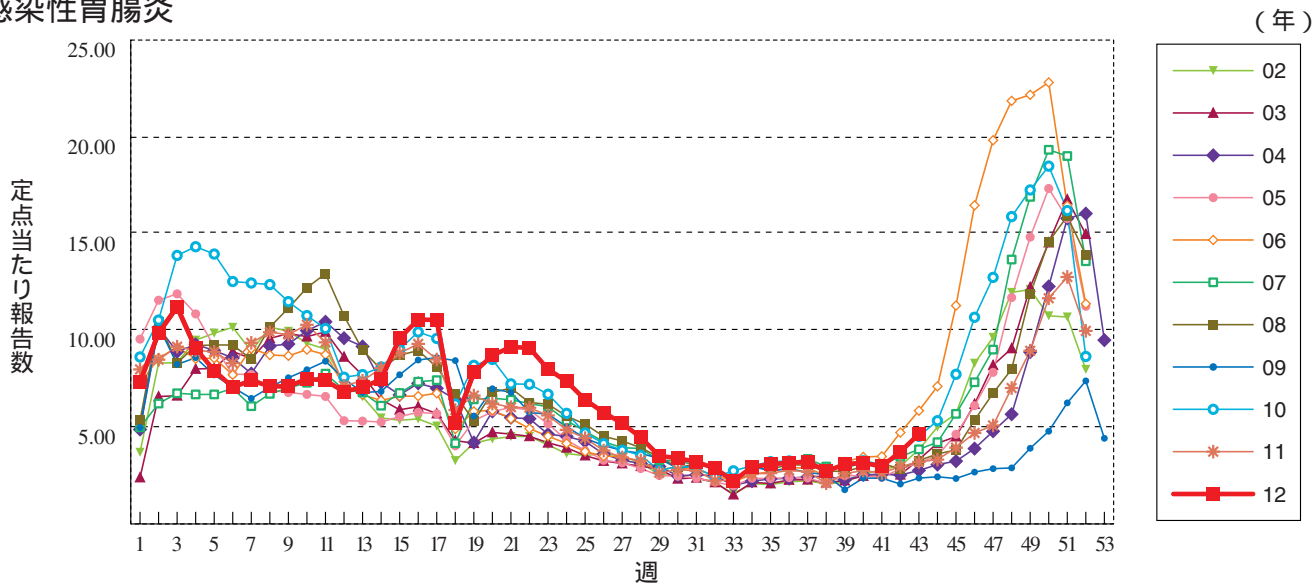
咽頭結膜熱



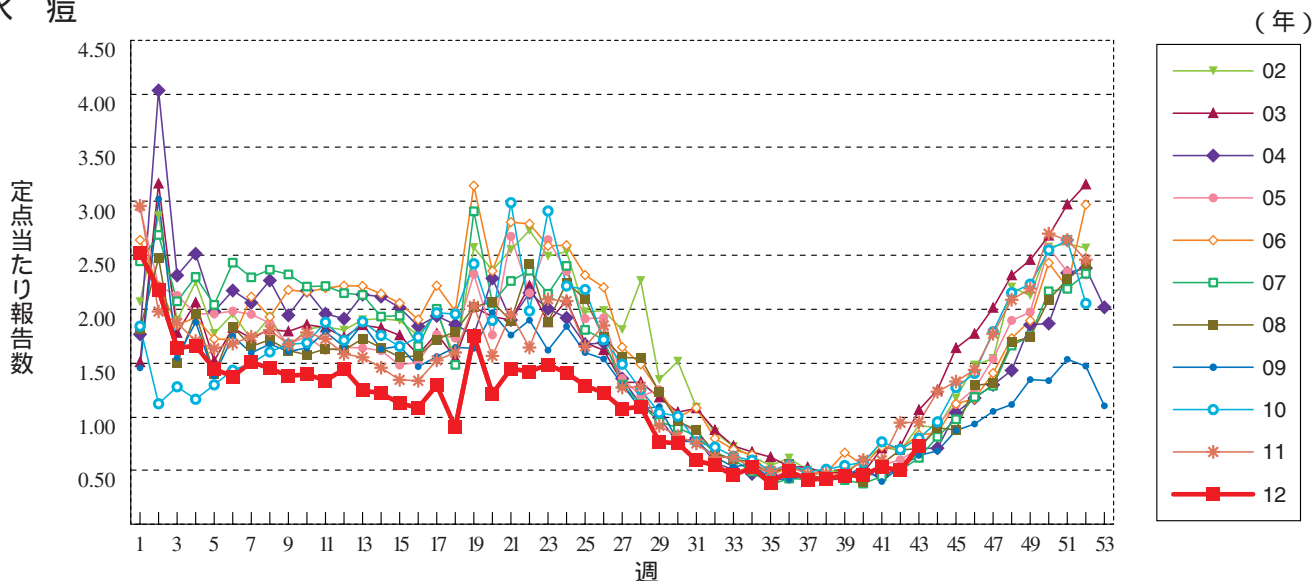
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



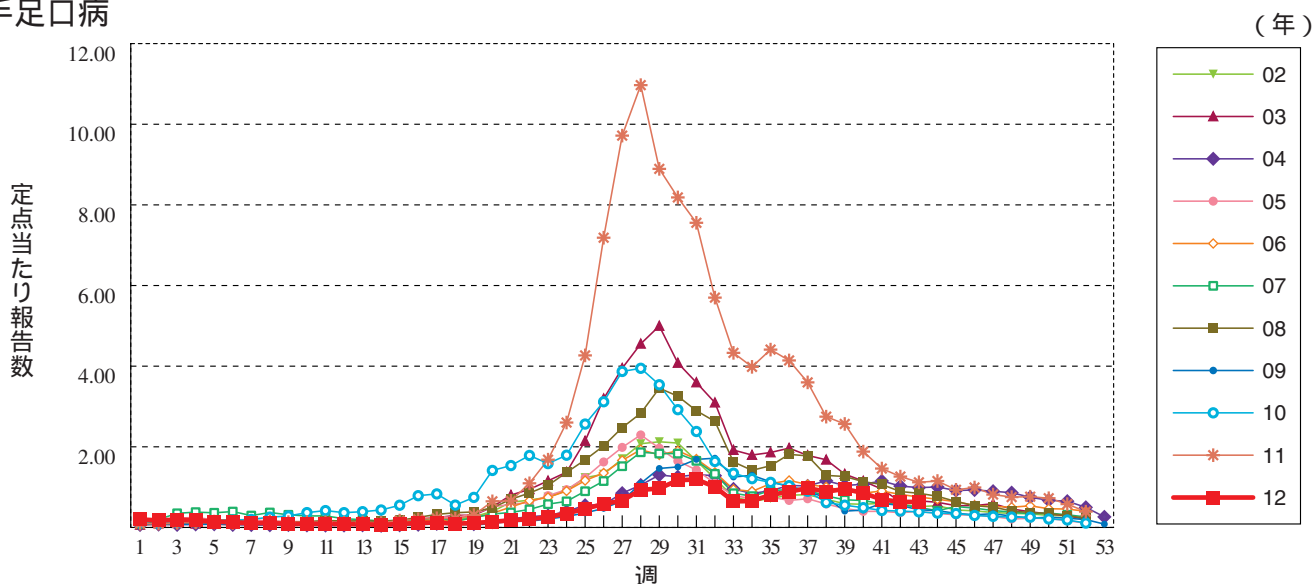
感染性胃腸炎



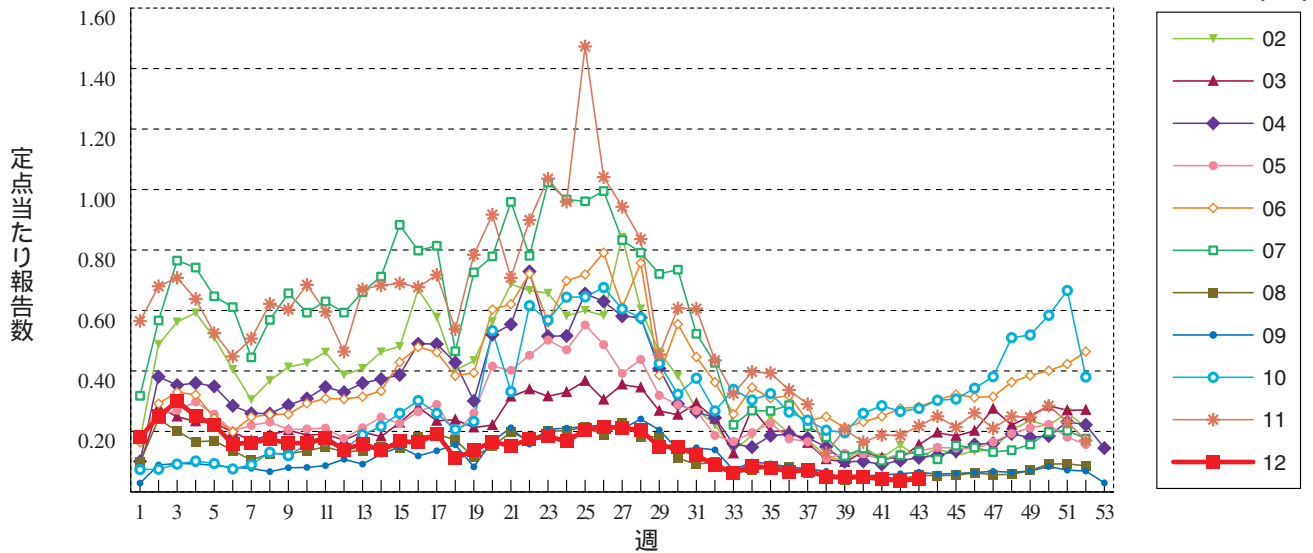
水痘



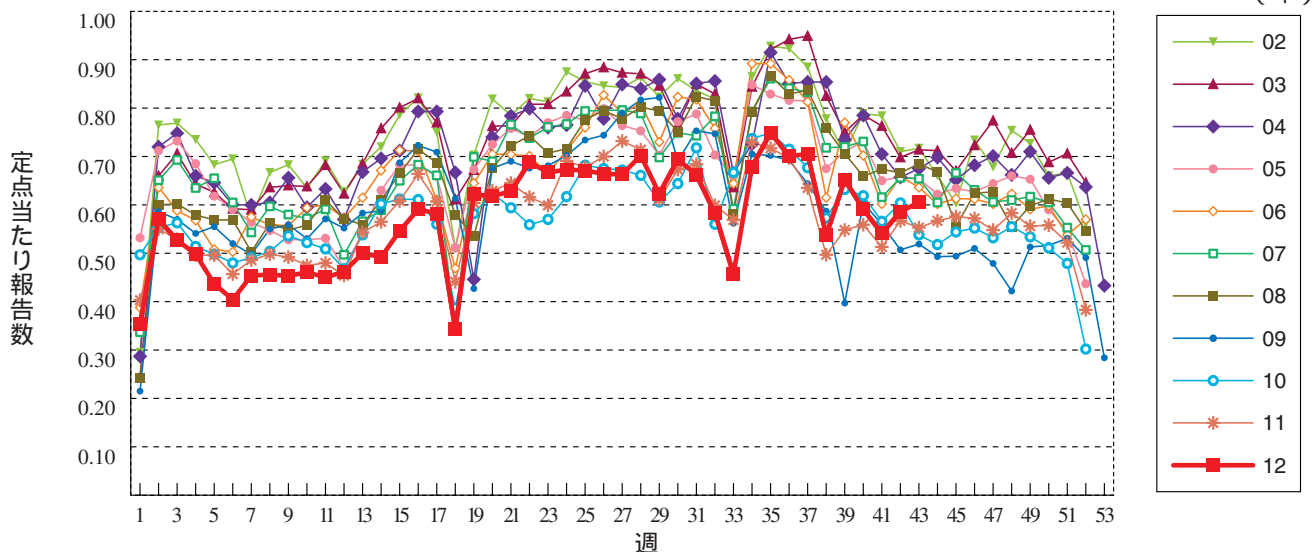
手足口病



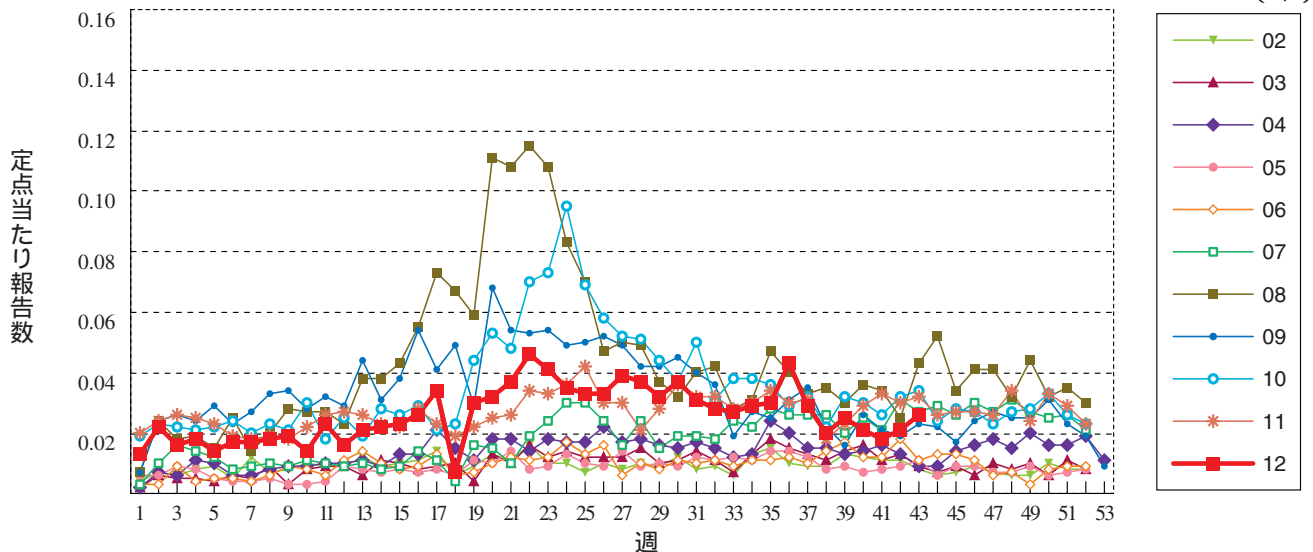
伝染性紅斑



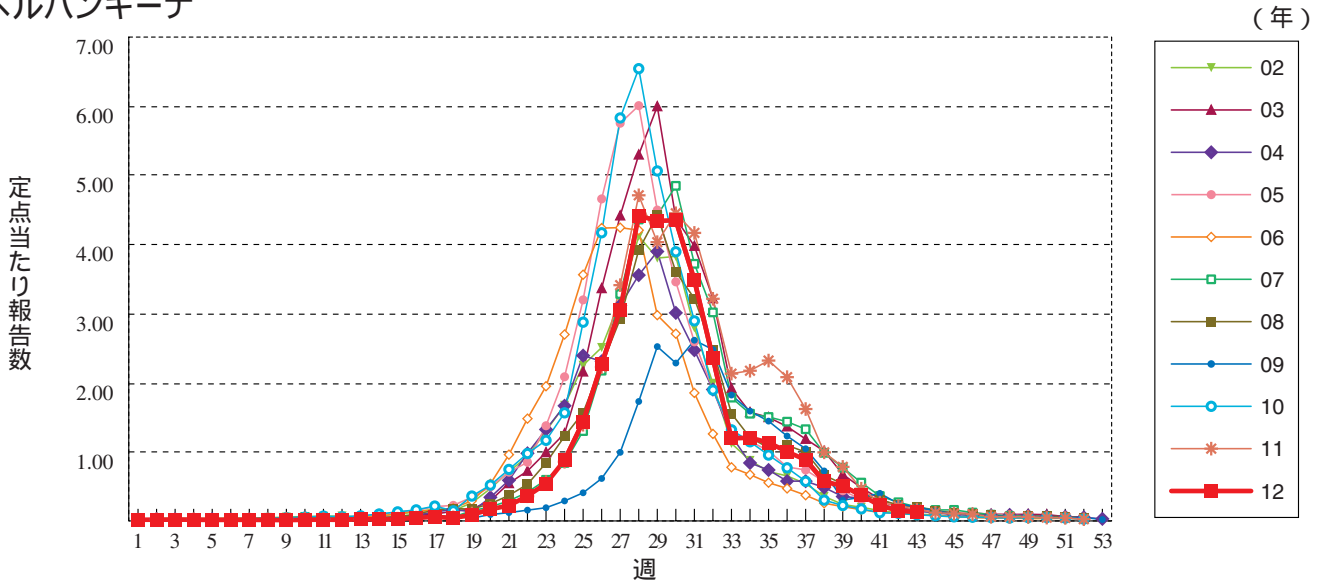
突発性発しん



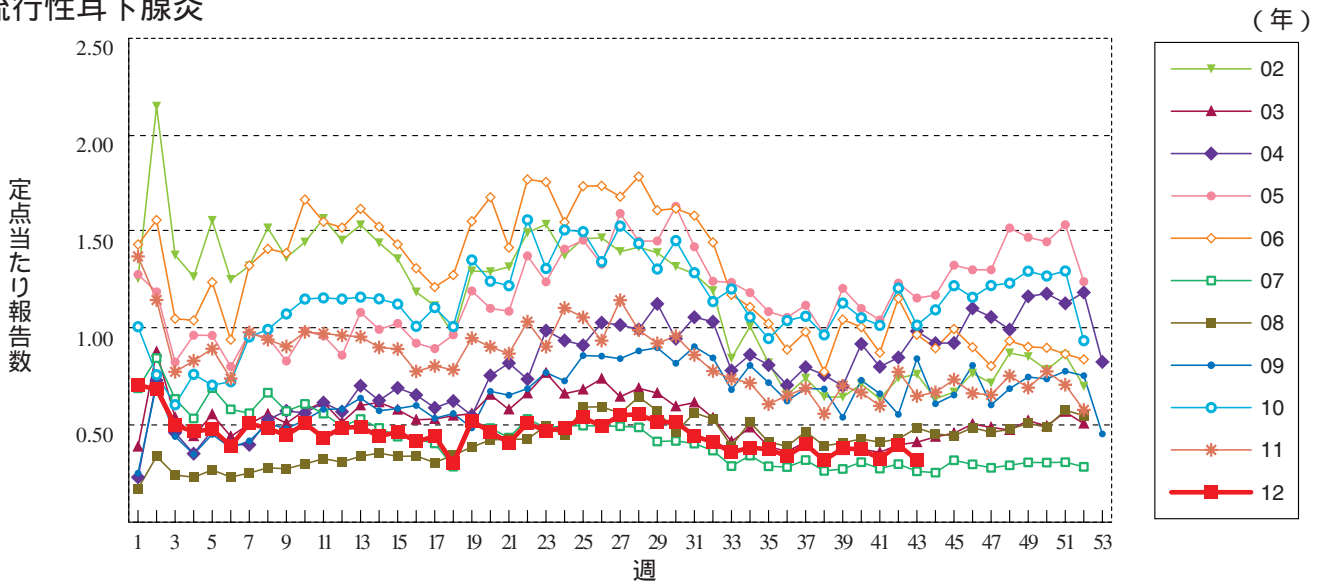
百日咳



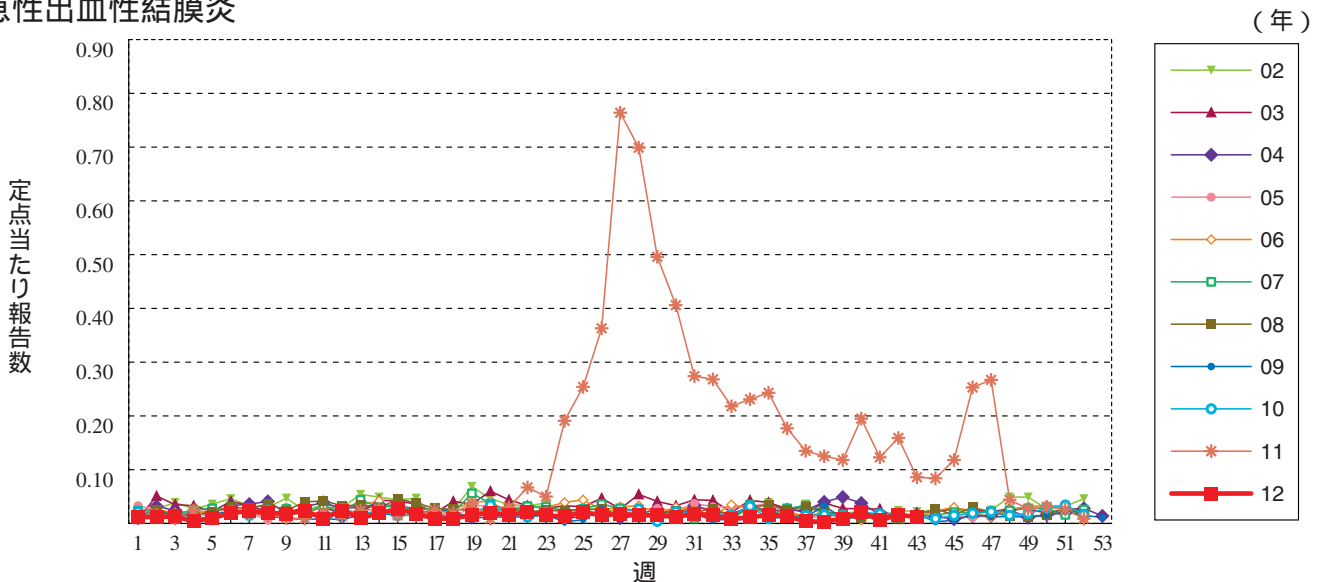
ヘルパンギーナ



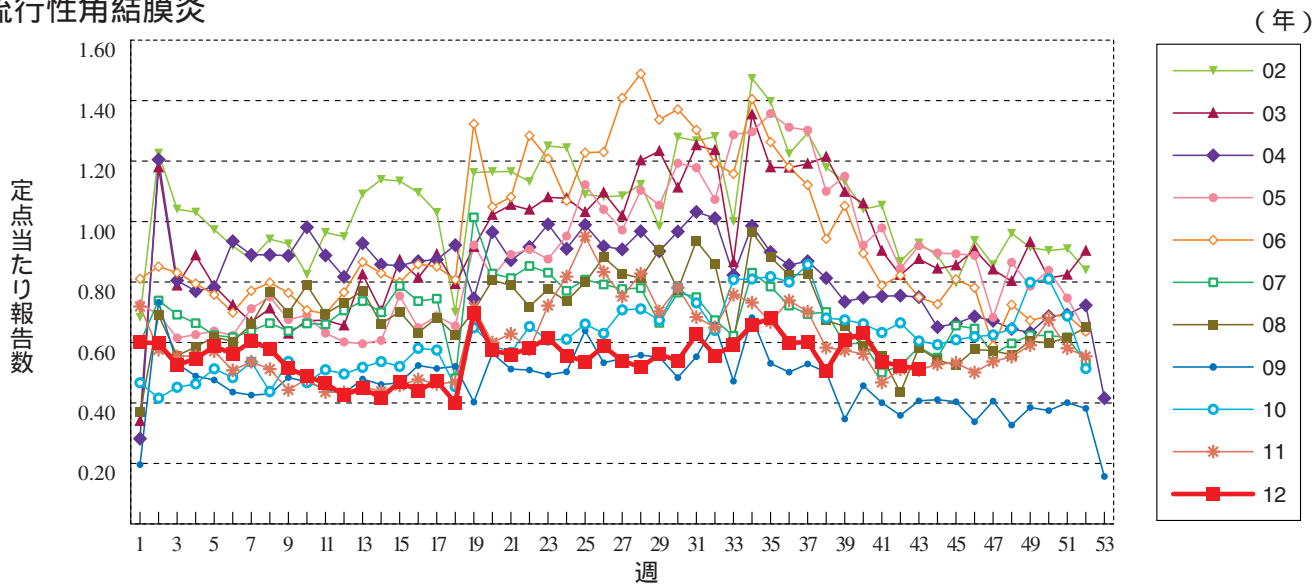
流行性耳下腺炎



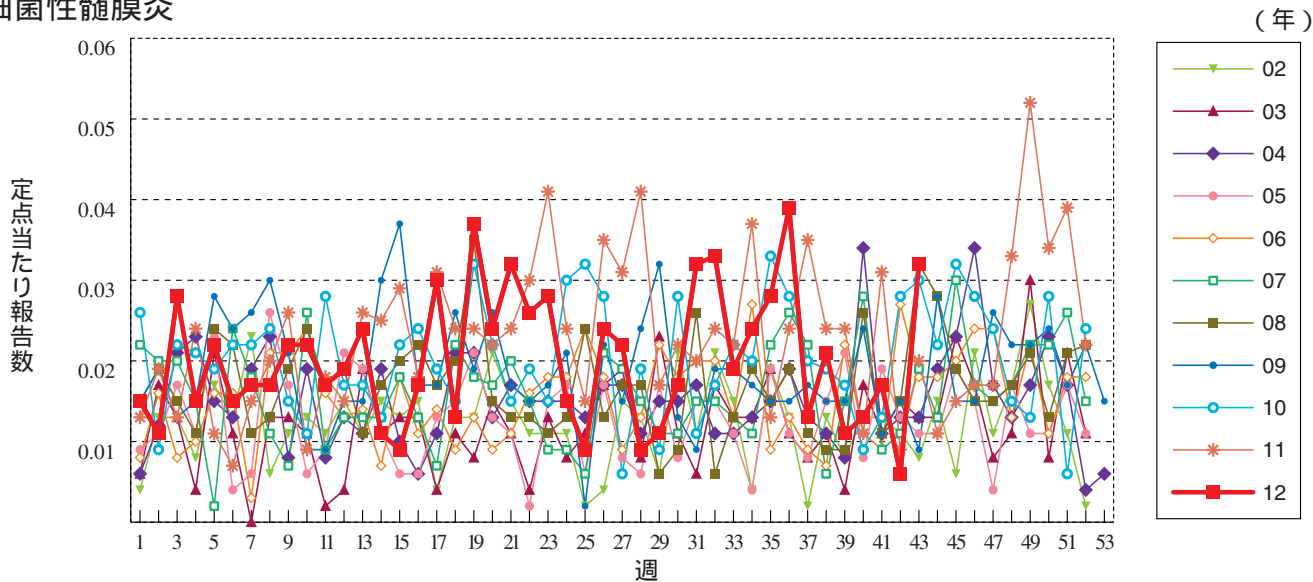
急性出血性結膜炎



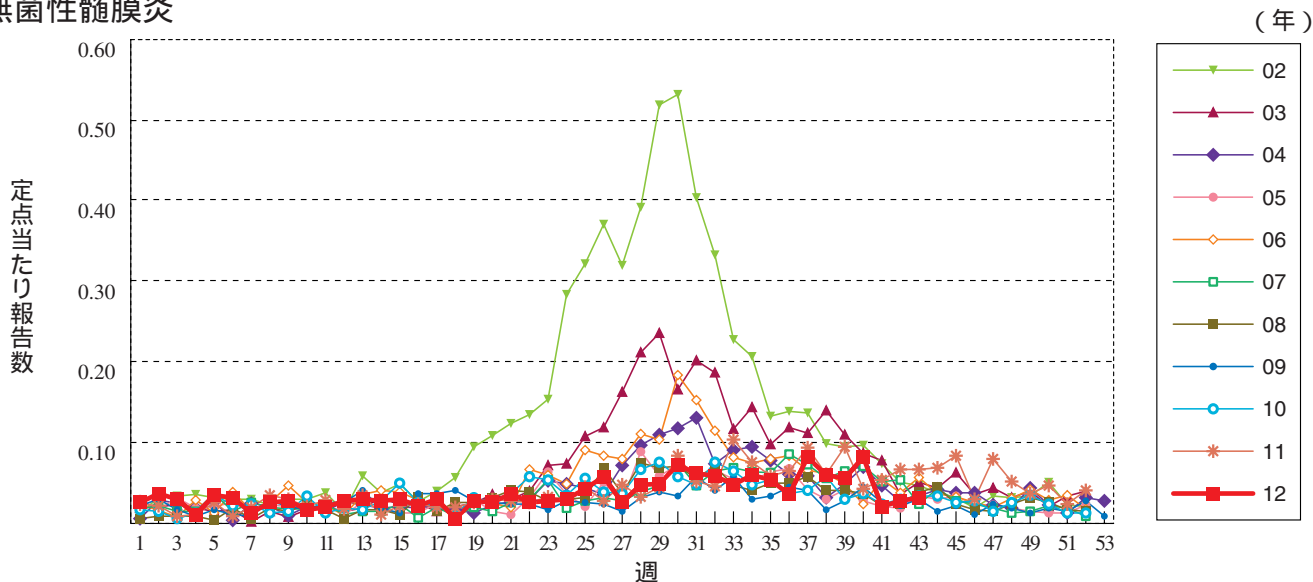
流行性角結膜炎



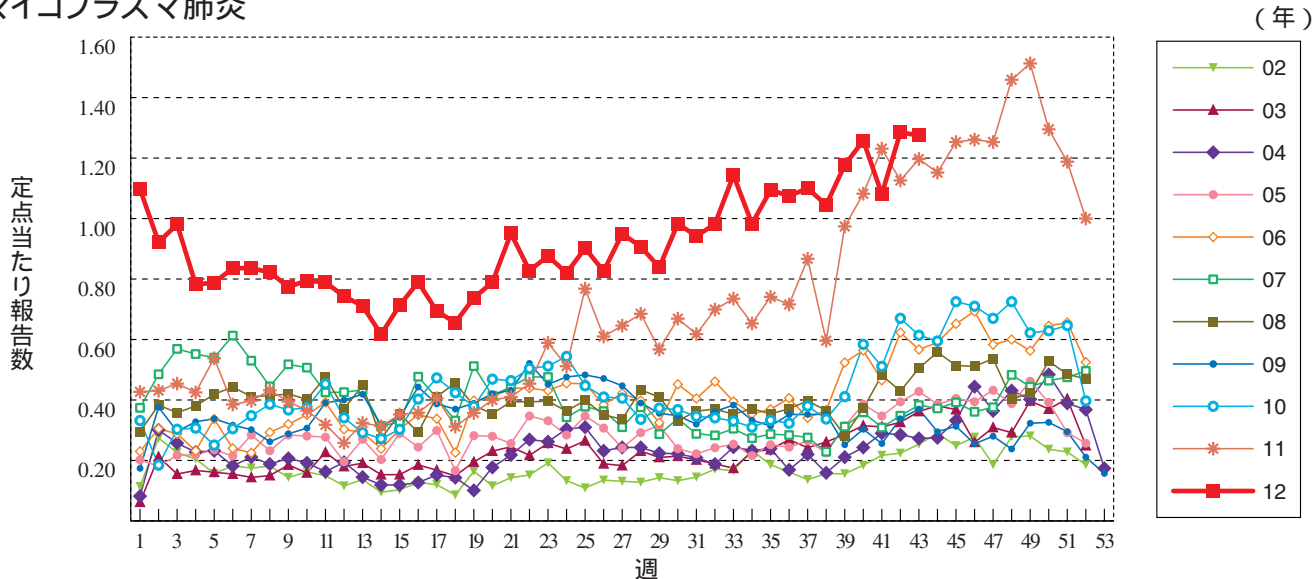
細菌性髄膜炎



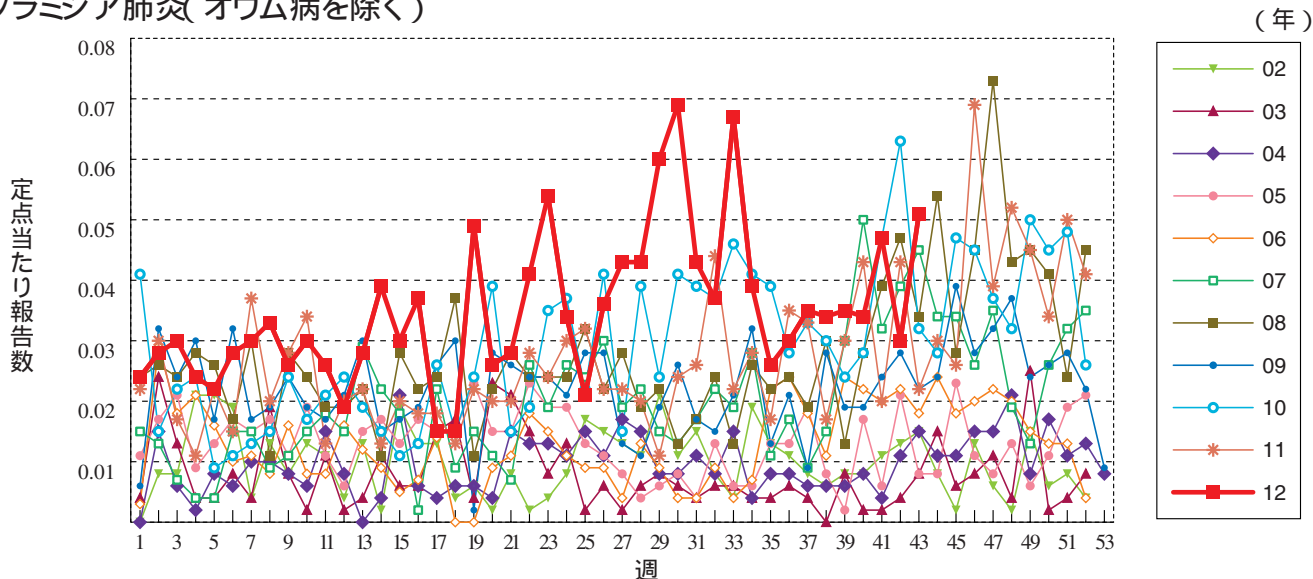
無菌性髄膜炎



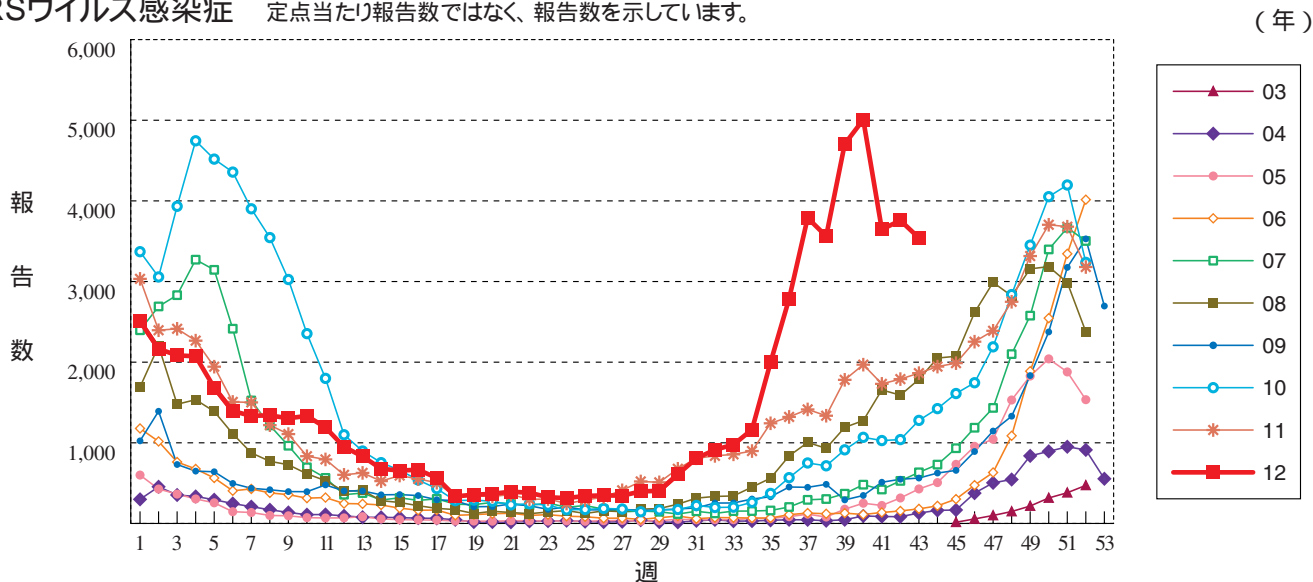
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 定ポイントあたり報告数ではなく、報告数を示しています。





43週のデータ

注) 表中の報告数は10月31日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
 新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2012年43週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	344	23902
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	700
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	339
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	237
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	329
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	173
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	161
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	220
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	522
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	289
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	223
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	1170
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	1143
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	61	3724
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31	1728
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	302
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	183
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	165
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	141
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	118
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	282
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	409
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	532
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	1581
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	282
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	216
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	616
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36	1424
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	849
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	343
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	290
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	105
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	200
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	369
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	560
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	325
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	195
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	167
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	193
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	106
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	1016
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	136
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	321
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	356
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	268
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	217
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	313
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	364

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年43週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ (H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	3	3	2	183	59	3415	2	29	1	18	1	96
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	322	-	-	-	-	-	35
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	65	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	101	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2	146	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	26	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	45	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	22	-	-	-	-	-	2
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	3	41	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	36	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	53	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	1	107	-	1	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	4	111	-	-	-	1	-	2
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	1	59	6	235	1	10	1	8	1	15
神奈川県	-	-	-	-	-	-	2	2	-	10	2	131	-	7	-	2	-	4
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	58	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	29	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	25	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	13	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	18	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	95	-	-	-	-	-	3
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	61	-	1	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	33	-	1	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	144	-	2	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	68	-	-	-	-	-	12
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	37	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	47	-	-	-	1	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	1	-	28	1	242	-	1	-	4	-	4
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	4	90	1	2	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	16	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	16	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	31	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	156	-	1	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	64	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	51	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	24	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	5	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	251	-	2	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	75	-	-	-	1	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	17	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	67	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	31	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	65	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	110	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	11	-	1	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年43週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	1	139	-	11	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	2	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	11	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年43週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		チクングニア熱		つつが虫病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	3	206
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	10
東京都	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ H5N1 を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年43週

	デング熱		東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	5	188	-	-	-	-	-	-	7	146	-	2	-	-	-	-	-	-
北海道	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	2	13	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	2	47	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	3	-	-	-	-	-	-	2	32	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	21	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	2	-	-	-	-	-	-	2	21	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	19	-	1	-	-	-	-	-	-
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	15	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年43週

	ブルセラ症		ベネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	67	-	-	-	9	-	-	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	4	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2012年43週

	リフトバレー熱		類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山 紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプト スポリジウム症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	12	699	4	21	-	-	15	730	2	182	-	303	-	6
北海道	-	-	-	-	1	27	-	-	-	-	1	23	-	5	-	12	-	-
青森県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	3	-	1	-	3	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	3	14	-	3	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-
福島県	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	6	-	-	-	3	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	11	-	2	-	19	-	-
栃木県	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	5	-	2	-	8	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	4	-	1	-	8	-	-
埼玉県	-	-	-	-	2	40	-	1	-	-	-	37	1	7	-	15	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	39	-	4	-	44	-	-
東京都	-	-	-	-	-	47	-	4	-	-	3	156	1	43	-	26	-	2
神奈川県	-	-	-	-	2	45	2	3	-	-	2	68	-	4	-	12	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	1	9	-	1	-	15	-	-
富山県	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	5	-	3	-	3	-	-
石川県	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	1	2	-	2	-	2	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	6	-	3	-	1	-	-
岐阜県	-	-	-	-	1	14	-	-	-	-	-	19	-	1	-	1	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	1	23	-	3	-	16	-	-
愛知県	-	-	-	-	1	39	-	-	-	-	-	46	-	10	-	14	-	1
三重県	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	10	-	2	-	3	-	3
滋賀県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	12	-	2	-	3	-	-
京都府	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	18	-	6	-	8	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	35	-	1	-	-	2	64	-	22	-	19	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	38	-	-	-	-	-	25	-	11	-	9	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	21	-	-	-	-	-	11	-	6	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	2	18	-	-	-	-	-	16	-	8	-	14	-	-
山口県	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	11	-	1	-	3	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	5	1	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	7	1	2	-	-	1	3	-	3	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	1	29	-	1	-	-	-	30	-	12	-	4	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	5	-	2	-	2	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	4	-	1	-	7	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	3	-	2	-	8	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-	-	5	-	2	-	6	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	3	-	4	-	-	-	5	-	3	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年43週

	クローンツェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	3	151	2	209	14	1147	3	59	-	10	-	1	17	711	-	91	-	-
北海道	-	7	-	10	-	22	-	1	-	-	-	-	-	20	-	9	-	-
青森県	-	-	-	2	-	3	-	1	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-
岩手県	-	2	-	5	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
宮城県	-	4	-	3	-	10	-	1	-	-	-	-	-	18	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-
福島県	-	1	-	3	-	6	1	1	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-
茨城県	-	4	-	3	1	23	-	2	-	-	-	-	3	23	-	4	-	-
栃木県	-	7	-	5	-	17	-	-	-	-	-	-	1	12	-	2	-	-
群馬県	-	1	-	4	1	12	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-
埼玉県	1	6	-	5	1	35	1	2	-	-	-	-	-	30	-	4	-	-
千葉県	-	5	1	13	1	41	-	-	-	-	-	-	3	24	-	4	-	-
東京都	-	13	-	19	4	378	-	11	-	-	-	-	3	232	-	3	-	-
神奈川県	-	7	1	10	1	61	-	4	-	2	-	-	-	40	-	5	-	-
新潟県	-	5	-	3	-	7	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-
富山県	-	2	-	8	-	4	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-
石川県	-	4	-	3	-	7	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
福井県	-	2	-	3	-	8	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	3	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
長野県	-	1	-	4	-	14	-	2	-	-	-	-	1	6	-	3	-	-
岐阜県	-	1	-	1	1	12	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-
静岡県	-	4	-	5	1	23	-	-	-	-	-	-	1	14	-	3	-	-
愛知県	-	8	-	10	1	100	-	1	-	1	-	-	-	30	-	4	-	-
三重県	-	1	-	4	-	6	-	1	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	3	1	8	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
京都府	-	7	-	8	-	8	-	1	-	1	-	-	-	8	-	2	-	-
大阪府	-	6	-	4	-	141	1	10	-	-	-	-	2	86	-	1	-	-
兵庫県	-	6	-	4	-	36	-	6	-	1	-	1	1	16	-	1	-	-
奈良県	-	2	-	1	-	9	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
和歌山県	-	1	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-
鳥取県	-	2	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
島根県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-
岡山県	-	1	-	-	-	15	-	2	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-
広島県	-	1	-	2	-	17	-	2	-	-	-	-	-	7	-	3	-	-
山口県	-	2	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
徳島県	-	4	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	2	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
愛媛県	-	2	-	6	-	7	-	2	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-
高知県	-	-	-	3	-	3	-	1	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-
福岡県	1	7	-	15	-	40	-	2	-	2	-	-	-	25	-	4	-	-
佐賀県	-	3	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
長崎県	-	-	-	1	-	4	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
熊本県	-	3	-	11	-	6	-	-	-	1	-	-	-	11	-	4	-	-
大分県	1	3	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
宮崎県	-	2	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-
鹿児島県	-	2	-	3	-	5	-	1	-	-	-	-	-	5	-	3	-	-
沖縄県	-	3	-	2	-	18	-	2	-	1	-	-	-	9	-	1	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2012年43週

	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		風しん		麻しん	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	77	20	1930	3	275
北海道	-	-	-	9	-	1
青森県	-	1	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	2
宮城県	-	-	-	8	-	-
秋田県	-	-	-	3	-	1
山形県	-	-	-	5	-	-
福島県	-	1	-	4	-	7
茨城県	-	-	1	16	-	-
栃木県	-	-	-	4	-	10
群馬県	-	2	1	14	-	-
埼玉県	-	7	-	71	1	35
千葉県	-	5	2	80	-	19
東京都	-	8	7	495	-	73
神奈川県	-	6	4	185	1	26
新潟県	-	1	-	7	-	2
富山県	-	-	-	2	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	1	-	8	-	-
山梨県	-	1	-	10	-	3
長野県	-	-	-	12	-	-
岐阜県	-	2	-	8	-	6
静岡県	-	2	-	18	-	2
愛知県	-	3	1	82	-	38
三重県	-	1	-	57	-	1
滋賀県	-	-	-	12	-	1
京都府	1	4	-	34	-	2
大阪府	-	11	3	365	-	4
兵庫県	-	2	-	267	1	17
奈良県	-	-	-	18	-	-
和歌山県	-	1	-	10	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	3	-	-
岡山県	-	2	-	6	-	6
広島県	-	2	1	10	-	6
山口県	-	-	-	5	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	3	-	-
愛媛県	-	3	-	2	-	2
高知県	-	-	-	2	-	-
福岡県	-	4	-	35	-	-
佐賀県	-	-	-	1	-	-
長崎県	-	1	-	2	-	1
熊本県	-	5	-	3	-	-
大分県	-	-	-	2	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	8
鹿児島県	-	-	-	4	-	1
沖縄県	-	1	-	44	-	-

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2012年43週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	316	0.06	625	0.20	3828	1.22	14601	4.64	2280	0.72	1988	0.63	136	0.04	1904	0.61	82	0.03
北海道	3	0.01	57	0.40	314	2.20	198	1.38	126	0.88	176	1.23	2	0.01	53	0.37	6	0.04
青森県	-	-	1	0.02	52	1.27	55	1.34	34	0.83	31	0.76	-	-	15	0.37	1	0.02
岩手県	-	-	6	0.15	28	0.70	95	2.38	31	0.78	138	3.45	3	0.08	16	0.40	-	-
宮城県	-	-	4	0.07	69	1.19	323	5.57	86	1.48	93	1.60	3	0.05	43	0.74	-	-
秋田県	1	0.02	7	0.20	9	0.26	80	2.29	14	0.40	99	2.83	1	0.03	10	0.29	-	-
山形県	-	-	16	0.55	41	1.41	67	2.31	59	2.03	108	3.72	1	0.03	26	0.90	-	-
福島県	6	0.08	4	0.08	50	1.04	83	1.73	45	0.94	98	2.04	6	0.13	30	0.63	1	0.02
茨城県	-	-	5	0.07	73	0.97	283	3.77	36	0.48	82	1.09	4	0.05	31	0.41	2	0.03
栃木県	-	-	2	0.04	29	0.60	77	1.60	34	0.71	89	1.85	1	0.02	33	0.69	2	0.04
群馬県	6	0.06	5	0.08	50	0.83	184	3.07	30	0.50	22	0.37	1	0.02	28	0.47	3	0.05
埼玉県	6	0.02	30	0.19	241	1.53	641	4.06	118	0.75	135	0.85	5	0.03	105	0.66	3	0.02
千葉県	14	0.07	20	0.15	232	1.74	406	3.05	84	0.63	72	0.54	9	0.07	85	0.64	2	0.02
東京都	16	0.04	82	0.32	341	1.31	1244	4.78	178	0.68	103	0.40	12	0.05	164	0.63	9	0.03
神奈川県	12	0.04	40	0.20	205	1.02	638	3.17	130	0.65	149	0.74	9	0.04	122	0.61	5	0.02
新潟県	-	-	19	0.32	112	1.87	95	1.58	61	1.02	15	0.25	10	0.17	39	0.65	2	0.03
富山県	1	0.02	3	0.10	55	1.90	105	3.62	23	0.79	2	0.07	-	-	9	0.31	-	-
石川県	3	0.06	3	0.10	41	1.41	239	8.24	12	0.41	27	0.93	2	0.07	22	0.76	-	-
福井県	-	-	2	0.09	43	1.95	101	4.59	13	0.59	9	0.41	1	0.05	3	0.14	2	0.09
山梨県	-	-	2	0.08	33	1.38	53	2.21	14	0.58	7	0.29	-	-	12	0.50	-	-
長野県	-	-	1	0.02	104	1.89	194	3.53	51	0.93	8	0.15	2	0.04	28	0.51	-	-
岐阜県	18	0.21	4	0.08	29	0.55	250	4.72	18	0.34	1	0.02	9	0.17	21	0.40	3	0.06
静岡県	5	0.04	10	0.11	78	0.88	332	3.73	54	0.61	18	0.20	-	-	63	0.71	-	-
愛知県	11	0.06	24	0.13	183	1.01	695	3.84	66	0.36	7	0.04	6	0.03	90	0.50	2	0.01
三重県	6	0.08	12	0.27	25	0.56	184	4.09	25	0.56	11	0.24	-	-	29	0.64	-	-
滋賀県	19	0.36	5	0.16	63	1.97	97	3.03	13	0.41	7	0.22	-	-	22	0.69	-	-
京都府	2	0.02	5	0.07	66	0.90	297	4.07	47	0.64	23	0.32	2	0.03	29	0.40	-	-
大阪府	6	0.02	34	0.17	360	1.80	1437	7.19	123	0.62	38	0.19	8	0.04	126	0.63	11	0.06
兵庫県	4	0.02	13	0.10	105	0.81	1402	10.87	100	0.78	2	0.02	7	0.05	71	0.55	2	0.02
奈良県	1	0.02	4	0.11	20	0.57	126	3.60	16	0.46	9	0.26	-	-	15	0.43	-	-
和歌山県	-	-	3	0.10	17	0.55	147	4.74	17	0.55	1	0.03	-	-	15	0.48	1	0.03
鳥取県	-	-	3	0.16	29	1.53	68	3.58	11	0.58	-	-	-	-	8	0.42	-	-
島根県	-	-	8	0.35	22	0.96	116	5.04	16	0.70	2	0.09	1	0.04	23	1.00	-	-
岡山県	-	-	4	0.07	25	0.46	259	4.80	43	0.80	12	0.22	2	0.04	27	0.50	1	0.02
広島県	2	0.02	10	0.14	54	0.75	266	3.69	43	0.60	-	-	3	0.04	40	0.56	5	0.07
山口県	-	-	2	0.04	120	2.50	220	4.58	36	0.75	4	0.08	-	-	34	0.71	3	0.06
徳島県	-	-	13	0.57	29	1.26	92	4.00	32	1.39	-	-	4	0.17	19	0.83	-	-
香川県	1	0.02	5	0.17	8	0.27	146	4.87	19	0.63	17	0.57	3	0.10	9	0.30	-	-
愛媛県	1	0.02	3	0.08	40	1.08	239	6.46	38	1.03	17	0.46	3	0.08	34	0.92	1	0.03
高知県	2	0.04	2	0.07	24	0.80	109	3.63	28	0.93	-	-	5	0.17	19	0.63	4	0.13
福岡県	11	0.06	40	0.33	131	1.09	1318	10.98	112	0.93	25	0.21	2	0.02	121	1.01	4	0.03
佐賀県	45	1.18	29	1.32	26	1.18	87	3.95	39	1.77	4	0.18	-	-	29	1.32	-	-
長崎県	-	-	9	0.20	38	0.86	245	5.57	29	0.66	1	0.02	-	-	25	0.57	-	-
熊本県	1	0.01	15	0.31	35	0.73	340	7.08	47	0.98	26	0.54	4	0.08	41	0.85	-	-
大分県	2	0.03	10	0.28	55	1.53	279	7.75	26	0.72	19	0.53	2	0.06	31	0.86	6	0.17
宮崎県	1	0.02	25	0.71	82	2.34	249	7.11	49	1.40	131	3.74	-	-	37	1.06	-	-
鹿児島県	1	0.01	21	0.38	35	0.64	234	4.25	35	0.64	138	2.51	-	-	39	0.71	-	-
沖縄県	109	1.88	3	0.09	7	0.21	206	6.06	19	0.56	12	0.35	3	0.09	13	0.38	1	0.03

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2012年43週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	408	0.13	1006	0.32	8	0.01	352	0.51	15	0.03	15	0.03	598	1.28	24	0.05	3541	
北海道	10	0.07	9	0.06	-	-	8	0.28	-	-	-	-	33	1.43	-	-	153	
青森県	3	0.07	7	0.17	-	-	3	0.27	-	-	-	-	14	2.33	-	-	77	
岩手県	3	0.08	48	1.20	-	-	14	1.00	-	-	-	-	44	2.32	-	-	49	
宮城県	15	0.26	50	0.86	-	-	-	-	-	-	-	-	49	4.08	-	-	19	
秋田県	8	0.23	9	0.26	-	-	4	0.57	-	-	-	-	16	2.00	-	-	58	
山形県	11	0.38	33	1.14	-	-	2	0.25	1	0.10	-	-	11	1.10	-	-	86	
福島県	5	0.10	15	0.31	-	-	3	0.25	-	-	-	-	20	2.86	1	0.14	82	
茨城県	1	0.01	6	0.08	-	-	26	1.53	-	-	2	0.15	13	1.00	-	-	47	
栃木県	-	-	15	0.31	1	0.08	6	0.50	-	-	1	0.14	25	3.57	2	0.29	70	
群馬県	9	0.15	19	0.32	-	-	11	0.79	-	-	-	-	36	4.50	-	-	101	
埼玉県	9	0.06	27	0.17	1	0.02	18	0.44	1	0.11	-	-	34	3.78	4	0.44	149	
千葉県	18	0.14	46	0.35	-	-	21	0.60	1	0.11	-	-	24	2.67	6	0.67	105	
東京都	58	0.22	59	0.23	1	0.03	14	0.37	3	0.12	2	0.08	36	1.44	1	0.04	254	
神奈川県	17	0.08	41	0.20	-	-	35	0.80	1	0.11	2	0.22	14	1.56	-	-	80	
新潟県	24	0.40	21	0.35	-	-	1	0.10	-	-	-	-	10	0.77	4	0.31	195	
富山県	9	0.31	2	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	7	1.40	-	-	51	
石川県	7	0.24	3	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.80	-	-	53	
福井県	2	0.09	14	0.64	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	59	
山梨県	2	0.08	5	0.21	-	-	3	0.33	-	-	-	-	5	0.50	-	-	6	
長野県	2	0.04	6	0.11	1	0.09	7	0.64	-	-	-	-	16	1.45	-	-	12	
岐阜県	4	0.08	38	0.72	-	-	-	-	1	0.20	-	-	10	2.00	-	-	53	
静岡県	6	0.07	31	0.35	-	-	17	0.77	-	-	-	-	15	1.50	1	0.10	89	
愛知県	6	0.03	76	0.42	1	0.03	5	0.15	-	-	-	-	24	1.71	-	-	136	
三重県	-	-	29	0.64	-	-	2	0.17	-	-	1	0.11	3	0.33	1	0.11	60	
滋賀県	14	0.44	12	0.38	-	-	-	-	-	-	-	-	9	1.29	-	-	25	
京都府	6	0.08	12	0.16	-	-	13	0.72	-	-	-	-	-	-	-	-	77	
大阪府	10	0.05	40	0.20	2	0.04	12	0.23	-	-	-	-	21	1.24	1	0.06	254	
兵庫県	13	0.10	31	0.24	-	-	14	0.40	-	-	-	-	13	1.18	1	0.09	131	
奈良県	-	-	1	0.03	-	-	2	0.22	-	-	1	0.17	1	0.17	-	-	28	
和歌山県	1	0.03	5	0.16	-	-	1	0.25	1	0.09	-	-	6	0.55	1	0.09	18	
鳥取県	4	0.21	-	-	-	-	5	1.67	-	-	-	-	3	0.60	-	-	44	
島根県	9	0.39	5	0.22	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.38	-	-	45	
岡山県	10	0.19	14	0.26	-	-	4	0.33	2	0.40	-	-	12	2.40	-	-	49	
広島県	5	0.07	19	0.26	-	-	8	0.42	2	0.10	-	-	4	0.19	-	-	82	
山口県	7	0.15	5	0.10	-	-	1	0.11	-	-	2	0.22	11	1.22	-	-	83	
徳島県	4	0.17	3	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20	-	-	21	
香川県	18	0.60	3	0.10	-	-	2	0.67	-	-	1	0.20	-	-	-	-	70	
愛媛県	13	0.35	14	0.38	-	-	6	0.75	-	-	-	-	7	1.17	-	-	40	
高知県	6	0.20	7	0.23	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.50	-	-	18	
福岡県	10	0.08	61	0.51	-	-	10	0.38	2	0.13	2	0.13	2	0.13	-	-	202	
佐賀県	1	0.05	6	0.27	-	-	4	1.00	-	-	-	-	7	1.17	-	-	42	
長崎県	-	-	24	0.55	-	-	3	0.38	-	-	1	0.08	5	0.42	-	-	59	
熊本県	15	0.31	23	0.48	-	-	17	1.89	-	-	-	-	4	0.27	1	0.07	73	
大分県	5	0.14	53	1.47	-	-	-	-	-	-	-	-	5	0.45	-	-	49	
宮崎県	13	0.37	25	0.71	-	-	5	0.83	-	-	-	-	1	0.14	-	-	52	
鹿児島県	9	0.16	22	0.40	-	-	12	1.71	-	-	-	-	7	0.58	-	-	28	
沖縄県	6	0.18	12	0.35	1	0.10	32	3.20	-	-	-	-	9	1.29	-	-	7	

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年43週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2012年43週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第14巻 第43号 2012年11月9日発行
 発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

< 国立感染症研究所 感染症情報センター >

<http://www.mhlw.go.jp/>

< 厚生労働省 >

<http://www.forth.go.jp/>

< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。